Supreme Commander for the Allied Powers,
Public Health and Welfare Section

Principle of Nursing Education

看 護 教 育 原 理

By

Nursing Affair's Division, GHQ

…は如何にし

Principle of Nursing Education

看護教育原理

看護教育の原理とは教授と學習の基礎をなす規則と眞理の研究を言うのであります。原理の外に實際の方法もいたし度いと思います。私共のねらいとするところを質問の形で申上げて皆様の方で其のお答えを考えて頂きましよう。

1 學習とは何か？ 教授とは何か？

2 看護婦の教師としての自分の職務は何であるか？

3 總べての學習の基礎をなす科學的規則．或いは法則とは何ぞや。何れの方法を自分は使い得るか？

4 總べての學科目の教授に當り同じ方法を用い得るや。もし用い得なければ何故出來ないか？ 自分の教授法を如何にして自分の教授目的に適應せしむるか？

5 自分の個人的習慣及び癖が生徒の學習に影響を及ぼすか。

6 自分の教授計畫を如何にして作るか？ 看護實習の教授案は何を含むべきか？ 學課の教授案は？

7 自分の教授の成功を如何にして測定し得るか？

8 教室と病室教授の相互關係とは何を意味するか？ これは如何にし

て完成され得るや。この相互關係に關しての自分の責任は何であるか？

以上はたいして多くの質問でもありませんが，これ等の解答には長時間の說明を要します。これ等全部を順を追つて檢討することはいたしませんが，とりあえず最初の答えから始めましよう。

このコースに於て皆樣方は單に受身のかたちをとつて頂き度くないと思います。ここで申し上げることの全部を皆樣のお一人一人が理解して頂くということが大切なことです。といいますのは遠からずして一人一人が一時間ずつ私と場所をかえてこのクラスを敎えて頂くからです。それをなさる時には，これ等原理を總べて勉强し習得して，ご自分のクラスの敎案に適用して頂けることを期待しています。

私がこういうことをいいますのは皆樣方が每日勉强しなければならないということを實感せられ，又わからないところを質問してはつきりさせて置くことの必要性を感じられるためであります。此の敎授の實際の時間をご自分の習得したものを使つたり，ご自分の級友や，私共から建設的な批評を貰うのに絕好の機會であるという風に考えて頂き度いと思います。

それでは，私共のねらいとする處のこれ等八つの質問の答えを發見しましよう。最初の質問は二つに分れていました。「**學習とは何か？　敎授とは何ぞや？**」誰かが學習しているということは何を意味することでしよう。

學習とは成長の一つの形であります。それは繼續的な過程であります。貴方は學習して居られれば，技術の習得において，理論づける能力において，或は又知識の保持において貴方は絕えず進步していらつしやるのです，さて此の事實は生徒に對する新らしい態度を貴方に與えなければなりません。各々の生徒は異つた精神的及び肉體的用意をもつて始めるのですから，その生徒が他の生徒に比べて或は私共自身に比べて出來る出來ない

によつてその生徒を判断してはいけません。質問に對しての解答が全部出來なかつたということで，その生徒は學習していないということはいえません。その生徒が自分のすることにおいて進歩を見せている限り彼女は學習しているのだといえましよう。このことを常に頭において生徒達が學習しつつあるか否かを知るためには彼等を十二分に知らなければならないのだということを學びましよう。

學習には色々の型がありますが，ここでは生徒が看護婦になるために用いる學習方法を取り上げて見ましよう。患者を看るのに生徒は總べて或種の技術を習得しなければなりませんから，**私共は生徒の技術習得法を知らなければなりません。亦生徒に推理を學習させ判斷を下せるようにしなければなりません。**というのは，生徒は患者の症狀を見て，自分の知識に照し，どんな場合は醫師に報告し，又どんな時は看護法によつておさまるかということを自分で決めることを學ばなければならないからです。**學習の第三の型は特定の事實を暗記することであります。**これには說明を要しないと思います。皆樣方は讀み書きをするのにあれだけの漢字を暗記なさつたのですから世界中のどこの人よりも暗記法にはたけて居られると思います。

さて，私共は時々，何かを習得したといいます。その意味は，技術，又は推理能力を實際に充分に熟知したか，或は又幾つかの事實を暗記してしまつたということであります。然しながら技術においてこの完全さにまで到達する人はなかなかありません。推理にしても新しい場合毎に習得されなければなりませんので．これも滅多に同じではありません。それから又2＋2＝4のように不變の事實は習得は出來ますが，これとても絕えず使つていなければ忘れてしまいます。ですから．私共は時々「習得した」という過去の形を用いますが，實際には繼續的成長過程として考えられなけ

ればなりません。特に醫學や看護學に於ては，日每に變化があるのですから，私共は看護學を「習得」してしまつたということは絕對にいえないのであります。又皆樣方の中の一人として此のコースの終りに「私は敎えることを習得した」ということはいえないのであります。本コースは敎授法のほんの緖論に過ぎないのです。皆樣方が生きて居られる限り敎えることをお學びになるでしよう。

學習の過程が止むや否や私共は個人としての成長は止み只草木と同じように生存しているに過ぎないのですから死んだも同樣であります。

さて，敎授とは何ぞや？　敎授とはこの進歩の過程，卽ちこの學習の過程に於て生徒を指導することであります。つまり，生徒が自分で自分をたすけ得るように生徒をたすけてやることなのです。ですからあとで說明の時に，推理とは何を意味するか，又技術を習得するとは何のことか，或はまた生徒がこれ等のことを學ぶに當つての敎師の責任は何であるかを說明いたしましよう。

一寸前に，生徒は推理を學ばなければならないと言いました。生徒が推理を學習し得るようにしてやるのに，敎師は何をなし得るかということを知る前に，推理とは何であるかを知らなければなりません。最も簡單な說明は，推理とは一つの原理を發見し，それを新らしい局面に適用することであります。ということは．看護婦は一つの局面を鑑識し，それに關係した問題を見，自分が得た知識をつかつてその問題を解決し，それから自分の行動の結果を批判することであります。ですからこの推理の過程には四階段があります。

（1）　その局面を全體として見ること。

（2）　問題を認識すること。

（3）　その問題を自分の知識に照らし，最もよきよう解決すること。

（4）　自分の結果を見て，自分がどの點で間違いをしたかを決め，再びそのような間違いをしないようにすること。

これ等は推理に於ける四階段ですから憶えて頂き度いと思います。これを幾度も引用いたします。

それでは，實際の一つの場合にぶつつかつて，それがどういう風にゆくか見ましよう。生徒が喘息患者の部屋へ入つて行つて患者が呼吸困難であるのを發見するとしましよう。彼女は第一階段をすませました。彼女は，患者が正常の動作をして居らず呼吸困難であることを認めました。彼女の次の階段は問題を認識することであります。これをするには，呼吸困難の原因に就て教室で教わつたことを思い出さなければなりません。これ等の問題は次のようなことを含むでしよう。

（1）　よくない位置

（2）　胸部の上の寢具の重さ。

（3）　きつい着物。

（4）　肩にかかる腕の重さ。

（5）　喘息に於ける氣管支の小筋肉の痙攣。

直ちにその生徒は第三階段，即ちこれ等問題の解決に入つてゆきます。（實際問題として彼女は恐らく一つ一つの問題を實際に認識しながらその解決も得ていましよう）彼女が即座に行動に移すその解決もまた教室で習得したものによるのであります。その解決というのは次のようなことを含むでしよう

（1）　患者を坐位にする。

（2）　寢具が胸部のあたりで重すぎていないか調べて見る。

（3）　着物がきつ過ぎないか調べる。

（4）　腕の下に支えを置いて重さを輕減する。

（5）　命令されている藥を與え氣管支の小筋肉の痙攣を輕減する。

これが全部終つてから第四階段へ進んでゆきます。患者はもつと樂に呼吸するようになり患者の家族は安心し，醫師は彼女が患者に與えた看護法をよろこぶことがわかれば，彼女は自分がこれ等の問題を總べて滿足に解決したと決定します。ですからこの特別な場合に關してはこの生徒は推理を習得したと云えましよう。それで敎授に當り私共は生徒が，看護に於て遭遇する種々の局面においてそれに關係のある問題を見きわめることを學ぶようにしてやらなければなりません。只今の一例では，問題は何が呼吸困難をもたらすか或はまたそれを增强するかということでありました。さて大抵の場合これ等問題は敎師がはつきりと示し出してクラスで檢討しなければなりません。最初は生徒に自分で問題を認識させることは無理です。例えば敎師が生徒に喘息患者に就いて敎えた時呼吸困難とは何か話しました。それから敎師は生徒に「さて，何が原因でこの患者は呼吸が苦しくなるのでしよう」と云つたような質問をしたかも知れません。それから敎師は生徒が自分でその問題を發見する機會を與え，自分でその問題を全部見付け出し得るようにしました。それから敎師は生徒がその問題に對する正しい解決に到達するよう指導しました。

如何なる場合に關連する問題でも認識し得るこの能力は生徒の病院並びに敎室の經驗によるものであります。生徒は病室に於てあらゆる種類の患者の責任をもつ經驗を得，自分で或る程度の決定をしなければならないようになつて始めてこのような場合の推理を習得し得るのであります。或る病院では卒業生看護婦だけに患者を受持たせ生徒には助手をさせるという制度になつています。このような制度では生徒は少しも責任を感じませんから推理を習得することはできません。或はまた，生徒が敎室で全然敎わらない病氣の患者を受持たされても推理を學び得ないでしよう。例えば，學校へ入つて最初の六カ月の訓練をうけつつある小さな生徒がこの同じ患

者の部屋をのぞいたとしましよう。恐らくこの生徒は患者が呼吸困難であることは認知したでしようが，もし彼女が前に一度もこういう人を見たことがなく，教室に於てもこのような患者のことに就て何も習つていなかつたとしたら，この患者の呼吸困難にはどんな問題が關連しているか，或はまたその問題をどのように解決したらよいか見當もつかないでしよう。ですから生徒に患者の責任を持たせる時には，その責任を遂行できるだけの教室での豫備知識をもつているということをたしかにしてからでなければなりません。

そこで，內科，外科，小兒科等々，教室で示された事實を單に生徒に覺えさせるだけでは充分でないことがおわかりになりましよう。私共は教師として，生徒が色々の學科課程の中で示された事實を使つて解決出來るような質問や問題を與えてやるようにしなければなりません。

例えば，生徒が最初の六カ月間にする基礎看護法では，患者の位置について學びます。その中で呼吸困難の患者に最もよい位置を教わります。次の年には內科疾患があり，心臟病又は喘息患者の看護に就て學びます。この二つの病氣の症狀の一つは呼吸困難であることを教わります。教師は，生徒がまる一年前のことを思い出して呼吸困難を輕減する原理をこれ等新しい狀態に適用するのはあたりまえのことだと思つてはなりません。教師は質問や說明によつてこれ等を適用させるようにしなければなりません。「さて，こういうものが呼吸困難を增惡するかも知れないといいましたがその二，三をいつて下さい」という風に質問すればよいでしよう。ここでは教師は，先刻生徒が喘息患者の看護に推理を適用していた時に認識したさまざまな問題が出て來るものと思つてよいでしよう。それからこれ等問題は看護法によつて如何に解決出來るかを質問します。こうすることによつて，教師は生徒が推理を習得するのをたすけます。また生徒が內科看護

法のクラスで學びつつある喘息患者という新らしい狀況にこれまでに既に習得したものを適用出來るようにしてやつているのです。遂には生徒は自分で應用をきかせるようになりましよう。

さて今度は，次のことを自問してみるとよいと思います。卽ち「**どのような特別なクラスに於て或は狀況に於て推理を教えるべきか**」私の解答はこれであります。卽ち，おそらく看護史をのぞくの外は，看護學に於では大抵どのクラスに於ても推理を敎える筈であります。例えば技術を習得さえしてしまえば，特に解決を要するような問題を全然提出しないような，あきベッドを作る簡單な問題においてさえ，生徒は思いがけなく非常に短い或は狹い敷布，或はまた破れた枕覆いに出くわすかも知れません。そうすれば推理でもつてこの新らしい狀況を修正しなければなりません。すべて患者に直接關係ある看護法，例えば患者のねているベッド，導尿，浣腸の如きは個々の患者に對する適用が必要となつて來ます。ですから常に推理を含みます。

例えば敎室で生徒が患者をねかせたままでベッドを作るのを敎わる時は患者を横向けにして，新らしい敷布を患者の背中にあて，それからベッドのきれいな側へ患者をころがします。然し生徒は病室では動かせない患者を發見します。狀況は，患者は動かせない。問題は，汚した敷布をとり，きれいな敷布をするということであります。この狀況に對する生徒の反應は，彼女の推理力によります。數ある中のどれかをするでしよう。

（1） 汚れた敷布をそのままにしておく。

（2） 監督の處へ行つて，患者が動かせないので敷布交換が出來ないがどうすればよいかと聞く。

（3） 或はまた，その狀況を一寸研究して，患者を仰向けのままベッドの一方側によせ，きれいな敷布を患者の下に出來るだけつつ込み，きれいな敷布の上に患者をやれば敷布が交換出來るということを考えます。

さて，最初の反應は大變まずく，これではその生徒は，患者を淸潔にしておくことの價値さえ習得していないことになります。第二の反應は，若い未經驗の生徒が問題は見たが患者の安全を考えて，その解決に對する助言を求めたのでよいのであります。第三の反應は勿論一番よいのでありまして，これは最も練れた推理を示しています。

もし教師が，生徒に推理を教えなければならないということを常に念頭にもつていれば，教師のすることなすことから生徒は推理を學びます。もしこれを頭においていなければ生徒は推理を學びません。いつでも誰か問題を解決してくれる人がいれば，自分で問題の解決方法を學ぶものではありません。ですから，生徒にあれをしなさい，ここれをしなさいと常に教える教師は，本當の教師ではありません。そういう教師は生徒を助けてはいますが，生徒が自ら出來るような助け方ではありません。

私共は推理の最後の階段，即ち**批評**も忘れてはなりません。生徒がベッドの作り方を教わる一番最初の時から，一歩さがつて自分がどんな仕事をしたかを觀察し批評的であることを學ばなければなりません。動けない患者の敷布を遂に交換した看護婦は次の諸點をつきとめることによつて自分の仕事を批評しなければなりません。即ち，敷布はベッドの上にきちんとおかれ，ゆるみのないようにきちんと兩わきがつつ込まれているか，患者は氣持よく，怪我はなかつたか，無駄骨を折らずに自分の仕事を手早くしたかどうか。

ですから生徒が新らしい，或は特別な狀況に於て困ることのないように，そしてまた必要な時にもつと出來るだけ充分な判斷が出來るように，生徒に推理を教えましよう。

もう一度繰返しますが，推理に必要な四つの階段は何と何ですか。

（1）　一つの狀況を全體として見る。

（２） 問題を認識する。

（３） 自分の旣に習得したものを使つてその問題を最もよいように解決する。

（４） 自分の結果を批評する。

生徒は如何にして推理を學び得るか。（生徒がこれ等の階段を度々とり，自分で出來るようになるまで指導してくれる敎師をもつことによつて）

敎師は如何にして生徒を指導し得るか。（生徒が遭遇するだろう處の問題を認識し，解決するのに事實を敎えることによつて。生徒を新らしい狀況におき，必要な處だけ指導を與えあとは生徒自身で自分の問題を解決させるようにすることによつて）

これで皆樣方は推理に就て理解出來ましたでしようか。出來ないようでしたら，質問して下さい。さもなければ，推理の說明はこれで打切り，今度は，生徒が技術を習得する方法に就て說明いたします。

技術の習得は全然異つた過程を含みます。これにもやはり四階段があります。一つの技術を完全に習得するためには生徒は次のことをしなければなりません。

1 自分の獲得し度い決勝點或は結果を，はつきりと頭に描くこと。

2 その仕事に含まれている動作を完全に習得すること。

3 これ等の動作が樂に出來るようになるまで練習すること。

4 自分の結果を自分の描いた完全な決勝點と比較すること。

ここでも又敎師は，自分の立場は指導の立場であるということを忘れないように注意しなければなりません。敎師は生徒に**してやつて**はいけません。先ずその目的（言葉を換えていえば，生徒がしようとしている處のもの）を生徒にすつかりはつきりさせなければなりません。これは敎師が出來るだけ完全な實物敎授をすることによつてなし遂げられます。つまり，敎

師である貴方は實物教授をする前に繰り返し繰り返し練習して細いところまで正確であるようにしておかなければならないということになります。

第一印象はあとから來る印象よりも，もつと永續的であることはよく知られていることです。ご自分の經驗をさかのぼつて考えて見て下さい。最初何か聞いた時聞違いをしますと，あとで本當のことがわかつても，その最初の印象をなくしてしまうことは大變むずかしいことです。ですから看護學の上手な教師はよい實物教授をするためには，よい役者でなければなりません。そうすれば，生徒にとつて，その第一印象が單に正確であるのみならず，明瞭でもあります。教師は必要に應じて或特定の動作を，より出してそれを別に離して見せなければなりません。同時にまた，容易に觀察出來るように動作をゆつくりすることも出來なければなりません。しかしこれは口でいう程やさしいことではありません。看護學教授のために貴方がご自分で練習なさる時この事を確認なさるでしよう。生徒の技術習得の第一階段に於ける成功不成功はこの實物教授によつて決まるのであります。それによつて生徒の目的がはつきりと描き出されるのであります。

第二に教師が出來なければならないことは，其の技術に含まれている動作を生徒にやり通させることです。教師はその動作の總べての部分を生徒に示し，生徒のする間違いに直ぐ氣が附かなければなりません。間違いは見付け出し，習慣になつてしまわないうちにとり除いてしまわなければなりません。あとでこのことに就て述べましよう。

習慣といえば，それについてこの一事實を知つておかなければなりません。最初に一つの習慣を作りあげる方が，それを破るよりもずつとやさしい。習慣を作るということは一つのことを幾度も幾度も繰り返えし，考えずに出來るようになるまですることです。さて，この習慣を變え度い時には，どういうことが起りますか。それこそむずかしい仕事であります。先

ず無意識にする代りに，にそのことを考え始めることによつて習慣を破らなければなりません。そのことを考えて，それからそれを今までしていたようにしないように新らしい方法でするようにしなければなりません。それからその新らしい方法を何遍も何遍も繰り返えして遂に無意識な動作にするようにしなければなりません。ですから，生徒が習慣を正しく學び得るようにしてやる方が習慣が出來てしまつてから直すよりもずつとやさしいということがわかりましよう。

第三に教師のしなければならないことは，練習によつてのみ技術を習得し得るのであることを生徒に實感させることであります。皆樣は漢字の書き方を習う時にこの規則を學ばれました。何時間も何時間も繰り返えし繰り返えしなさつたでしよう。ですから，看護法の本の中の方法を只讀んだり，或は教師の實物教授を單に見たりしただけでは，技術は完全に習得出來るものではありません。生徒は自分でこのやり方を幾度も幾度もして見なければなりません。生徒はこのことを知らなければなりません。

又教師は生徒が正しい方向に進步しつつあることを自分で知つているようにしなければなりません。進步を自覺して生徒は增々上達するように，より多くの興味をもつようになり，もつと努力するようになりましよう。仕事も，もつと面白くなり，より多くの自信も出來て來ます。教師は生徒の落膽の徵候に注意し，何故其の生徒の進步がおそいかを見出し，困難を突破するようにしてやらなければなりません。或る生徒は他の生徒より，より多くの勵げましを必要とします。ですから，教師は各生徒の必要とするところのものに早く氣がつかなければなりません。時としては一人の生徒の必要とするものに對する解決は教室で外の生徒の大勢いる所では發見出來ないことがあります。その生徒の本當の心配事を見出すために一人呼んで會つてやる必要も出て來ましよう。その心配事は全然病院外でのこと

で，そのために勉强に集中出來ないような場合もありましよう。

敎授ということは單に生徒の筆記帳に澤山の事實と二・三の技術を書き込ませるということより，もつともつと意味の深いものであります。敎授とは各々の生徒が最大限度に各自の全體の人格を磨き得るようにしてやることであり，只看護の途に於てのみならず人生のあらゆる面に於てうまくゆき，幸福になれるように手傳つてやることです。あとで敎師の任務に就て申上げる時に，その責任についても說明したしましよう。私共は敎師として生徒から自分を切り離してしまつてはいけないということでもつていい盡せると思います。生徒とは親しくし，私共がそばに行つても，戰々兢々としないようにしなければなりません。時には生徒を呼名で呼んでおやりなさい。特に生徒と二人だけで話している時は，そうすればその生徒は敎師が自分に對して個人的な親しみある關心をもつていることを感じるでしよう。生徒が病室で新らしい看護法をする時に，貴方にそばにいてもらつた方がよいか，にげていてもらつた方がよいかによつて貴方の前で生徒を氣樂にさせることに成功したかどうかがわかります。又次のことを自問して下さい「生徒は自分達の問題をもつて私のところへ來るか」もし生徒があなたの指導を求めないようであれば，生徒達と仲良くなることに失敗したといえましよう。

第四の階段を生徒に敎えるに當つては，生徒が自分のめざす目的と自分の仕事の結果とを比較するに實際に助けてやらなければなりません。換言すれば生徒が自分のしたことの成功，不成功を自分で測定出來るようにしてやらなければなりません。最初はゆつくりでも完全な仕事をするように敎えなければなりません。例えば，ベッドの作りかたで，生徒は最初どんなに時間がかかつても完全なベッドを作ることを習得しなければなりませ

ん。然しここで教師は直ぐ氣がつかなければなりません。何故ならば，生徒が完全なベッドが作れるとわかり次第，教師は生徒のスピードを增させなければなりません。生徒をのろいスピードになれさせてはいけません。

特にベッド作り，ベッドサイドテーブルの掃除，治療に必要な道具の準備，その片附け等のような每日の日課となつている仕事においては，のろのろして時間を浪費する癖を生徒につけさせることは大變よくないことであります。ここでついでに申し上げますが，もう一つ注意をして頂き度いことがあります。この注意というのは物事をするのに速度を增し，能率をあげるということと提携してゆかなければなりません。卽ち，患者から離れて仕事をしている時には，手を早めていいのですが，患者に直接何かしている時は，**急いでいるという印象を患者に與えてはいけません**。絕對にしていけないことは，自分達は餘り急がしくて患者を氣持よくして恢復させるために必要なことをする時間がないと患者に感じさせることです。

もし私共が廊下を走つて來て，髮の毛をぼうぼうさせ目をぱちくりさせ息せききつて患者の部屋へとび込み，部屋の中をがさがさするとしますとこの急いでいるのと混亂の氣持が患者に移り，患者の方も，そわそわして不愉快になつて來て，看護婦達が自分の世話を見て吳れる暇がないのだと思うようになります。ですから貴方は生徒に次のようなことを印象附けて頂き度いと思います。卽ち患者の部屋の入口に來るまでは，あらゆる看護の方法において速度を增すことが出來るが，患者の部屋へ入るや否や，その患者より外には今特に仕事はないのだという感じを患者に與えるようにすることです。

生徒は，不必要な動作をはぶき，仕事の計畫を立て，患者の部屋へ處置に入つてゆく時は，治療室や看護婦事務所へ物をとりに歸らなくてもよいように必要なものを全部もつてゆくようにすれば仕事が早く出來るということを敎えなければなりません。

仕事の計畫をするというこのことに於て，看護學の教師である皆様は大變な役割を持つて居られます。教壇に立つて第一日目から，仕事の計畫は如何にすべきであるかのよいお手本であるべき責任をもつて居られます。一つの方法を實物教授する前に，必要な物品は全部ベッドの側に必ずもつて行つてなければなりません。タオル，腹帶，或は洗面器等を忘れてとりにゆくようなことがあつてはいけません。他の人にとりにゆかせてもいけません。生徒自身に實際にさせてそれを見ている時は，一つの仕事を最初から最後までずつとよく考えて，患者の部屋の中へ入る前に必要なものを全部とりそろえるということを必ず習得させるようにいたします。このことは，生徒が教師のすることを見ていただけでは習得出來るものではありません。幾度も繰返し繰返し特に指摘しなければなりません。

この繰返すということは，教授に就てもう一つの覺えていただき度いことであります。一つのことを一度いうだけでは充分でありません。機會ある毎に幾度も幾度も繰返さなければなりません。何遍も力を入れて繰り返えされたものはいつも私の記憶にはつきりと殘つています。一つは，「點滴器は絕對に逆さにしてはいけない」というのであります。私共が看護實習で鼻の點滴を教わる時でした。私の先生は最初に非常に常に強く印象深く「點滴器は絕對に逆さにしてはいけない」といわれました。それからというものは，眼の點滴の時も，點滴器で藥をはかる時も，耳に點滴をする時も同じ注意が繰返されました。ですから今日でも尙，點滴器を見る度に「點滴器は絕對に逆さにしてはいけない」という赤ランプが私の腦裏にひらめきます。

このコースの初めから終りまで私は皆様方に何でも繰返し繰返し申上げます。ですから驚かないで下さい。一度聞いた時でも，また何度も聞くことだろうと思つていて下さい。

生徒に自分の仕事を自分で批評させるようにという話の本筋から少し横道にそれましたが速度と能率に就て考えている時についでにもう一つ，私が日本で大變びつくりしたことを申上げましよう。それは看護婦さん達が廊下をかけ廻つているのを目撃したことです。アメリカでは看護婦が走り廻ることは威嚴にかかわることであり，本當の生死にかかわる急の場合以外は走らないようにと教えられます。私はこちらの病棟へ入つて見ますと看護婦さん達は廊下をかけ廻つていましたので患者さんはみんな臨終であるかのような感じがいたしました。ところが，患者が臨終なのではなくて看護婦が，お醫者さんのためにチャートをとりにゆくか或はまた自分の忘れたものをとりにゆくために走つているのだということがわかりました。さて，人は大抵，火事とか，戰いとか，何かそういつた場合には走ります。

さて皆樣方はご自分で患者の身になつて見て下さい。くつろいで，夢うつつで横になつています。ドアは閉つていますがドアの外を行つたり來たり走り廻つている足音が聞えます。直ぐに，一體何が起つているのであろうりかと考え，自分の體が弱つているので，自分も起きて走つた方がよいのではあるまいかというような衝動にかられます。その結果として，すつかり目はさめてしまい，落付かない氣持になつて來ます。

これは直ぐにでも何とかして頂かなくてはならないことです。看護婦さん方に，もつと歩いて頂いて，走らないようにして頂いて下さい。日本では冬は，看護婦さん達は走ればいくらか溫かくなりますから無理もないことだとしていることは解ります。然し夏の間は全然理由が立ちませんから**走ることは禁物です**。それは誠に不必要なエネルギーの消耗であります。そうでなくても，騷々しい病院が尙騷々しくなります。

教師が生徒に仕事を次第に短い時間で出來るようにと勵まし始めると，生徒は直ぐに，これこれの仕事をするのには丁度何分かかればよいのですかと質問し始めるでしよう。さてこれは大變むずかしい問題であります。も

し只の空きベッドを作るのであつて，ベッドを全部はがして新らしく作り直すとすれば，ドロー・シーツその他を使つて大體五分から七分位で完成しなければならないでしよう。然し，そのベッドに患者を入れたとたんに豫言し難い問題となつて來ます。或る朝は，その患者は元氣に歩き廻つて手傳つたりして，空きベッドと同じように早く出來るかと思えば，次の日は，全然動き度くないと云い，なだめたり，すかしたりして，倍も時間がかかるようなことになります。ですから生徒にははつきりした時間制限はしないで下さい。もし時間制限をすると，患者のことより時計のことばかり氣にして，特定の時間内にベッドを作つてしまうために，患者を米袋のように押し廻すでしよう。

生徒のすることを見ていれば時間を浪費しているかどうかわかります。例えば，ベッドをさすり廻つている時間は浪費されている時間です。動作はきまつた動作で，目的をもつていなければなりません。

最初は生徒は一つのことにしか集中できません。即ちベッド作りの動作にだけしか。然しこれ等の動作は次第に自動的になつて來て，ベッドを作つている間に，全身清拭をしている時に，或はまた背中をこすつてあげている間等に親しみある會話が運べるようにならなければならないと生徒に教えなければなりません。こうして患者と話している間に，患者を知り，患者も，丁度自分と同じように問題をもち，或は趣味をもつ一個の個人と見做すようになります。そうすることによつて，同情や理解もわいて來て，**患者の個性を尊重した看護をしてあげられます**。生徒自身もまた自分のした仕事からより大きい滿足を得るようになりましよう。

これは前に申上げたことにまた戻ることになりますが，教師は機械的な技術を教えるだけに止まつてはいけないので，生徒が生きること，他人を理解すること，患者に慰めと勵ましを與えること，そして自分自身も幸福になることの技術ものびるように指導してやらなければなりません。これ

等のこと總べてが，生徒が仕事をしているうちに單に「起つて來る」ものだと考えていてはいけません。教師が患者に對する態度がお手本となつて生徒は多くを學びますが，大部分は，特に敎えなければなりません。ですから，全身清拭を敎える時に，生徒にそれをさせて見る時は，生徒は，只默つてそれをしていてはいけません。生徒は，自分の患者に氣輕に話しかけなければなりません―（敎室での患者は，生徒なのですが）その時手を止めて，ウオツシユ・クロスを宙にぶらさげていてはいけません。

同時にまた，生徒には自分の患者をよく觀察し，いつ患者が話しをしたくない氣分であるかを決め得るように敎えなければなりません。ベツドの傍にいて，患者をつかれさせるようなことをしてはいけません。

さて，クラスの梗概の作り方をお話するに當り，もう一度推理の學習及び技術の習得の過程を參照したりしましよう。學習の法則の二，三を考えて見ましよう。これは非常に大事なことですから相當時間をかけて說明し度いと思います。これ等の法則は總べての學習に適用します。それが事實を覺えることであつても，推理の學習であつても，或はまた技術の習得であつても……。

さて，法則とは何ぞや。政府でも法律という言葉を用い，化學の如き科學に於ても法則ということをいいます。然し此の言葉をどういう風に使おうと，それは或ることをすれば或る決つたことがその結果となるいうことです。政府では法律は，人を殺してはいけないといつています。もし殺せば，その結果は，つかまえられ，おそらく死刑になるでしよう。科學に於ては，大抵の法則は立證されました。例えば重力の法則があります。この法則は，もし空氣より重いものが高い所から落ちればそれは，地面に向つて落ちるといつています。ですから何かおとせば，下を見て探します。何

もそれが空に向つて落ちるだろうと思う人はありません。この法則は，學校で特に教わらなかつたかも知れませんが，誰もが知つています。

さて，學習の法則は科學的な法則であります。誰かがそれを研究して，その法則は常に同じような結果が出來ることを立證しました。ですから私共がその法則に從えば，私共の役に立たせることが出來ます。もし此の法則を知らないで，それに全然注意しないとしたら，私共の仕事は，ずいぶんむずかしいものになります。ですからこの法則を學ぶ時は，その意味をよく理解し，どのようにそれをつかえばよいかをはつきりわかるようにいたしましよう。

この法則の最初の一つを平易な言葉で現わしますと，人が行動の用意が出來ている時に行動することは，滿足を與えることで，行動しないことはいやなことです。然し，人が行動する用意が出來ていない時に行動を強いられることは，いやなことです。

この法則がどのように働くかの一例を私共自分の經驗からとつて見ましよう。友達と一緒にピクニツクに行く日の計畫を立て，持つてゆく食べ物の用意もし，何を着てゆかうということまで決めていたと想像しましよう。その日がやつて來て，お天氣はよく友達も來て，樂しく且美しいこの午後に出かけてゆきます。非常な滿足感を得ます。貴方は行動（この場合ピクニツク）の用意が出來ていました。そしてその行動をしました。（ピクニツクにゆくこと）ですから貴方は滿足しました。行動の用意が出來ている時に行動することは滿足を與えます。

然し，總べて用意が整つていたのにその日が明けて見れば寒くて雨降りだとしますと，最もいやに感じたでしよう。貴方は行動する（ピクニツクにゆくこと）用意が出來ていましたが，行動する（ピクニツクに行く）ことが出來なかつた。それはいやなことです。人が行動の用意がある時に行

動しないことは，いやなことです。これでこの法則の最初の半分は，はつきりしましたか。皆樣方はご自分でお仕事の時この法則の例をおあげになります。

それでは，この法則のあとの半分に入りましよう。もし自分の家から遠く離れていて，ピクニツクに行くのに適當な着物もなければ食べ物もなくて，行き度くないのに誰かゞどうしても行くのだと無理にすゝめたとしますと，いやなものです。貴方は行動（ピクニツクにゆく）の用意が出來ていませんでしたが行動（ピクニツクにゆく）しなければなりませんでした。そこで，そのことをいやな經驗だと思いました。人が行動の用意が出來ていない時に行動することは，いやなことです。

さて，これが生徒にどのように適用されましようか。これを使うのに最もよい方法はいつでも，生徒が敎室で何か敎わつてしまうや否や，生徒は行動の用意があるということを覺えていることです。換言すれば，生徒はそのことを患者に對してする用意があるのであります。ですから，あとで四ケ月乃至六ケ月の豫科期の間は生徒は敎室での勉强だけで病室へは出ませんということを申しますが，それは，病室へ全然出ないというわけではありません。その意味は生徒は病室で決つた時間仕事をするようにしてはいけないということです。敎室で敎わつたばかりの方法を敎師の監督のもとに病室へ行つてするのです。例えば，生徒が，患者のねているベツドの作り方を敎わつた時は病室へ行つて本當の患者のねているベツドを作つて見る機會を得なければなりません。この場合は生徒は朝一時間だけ病室へ出て患者のねているベツドだけを作るように割り當ててもよいでしよう。敎師は生徒と一緒に病室へ出て，生徒の仕事を監督します。生徒だけにしておいてはいけません。最初の六ケ月間の病室に於ける生徒の仕事は，總べて敎師の嚴格な監督のもとになされなければなりません。生徒が新しい方法を敎わつた時は，生徒はそれを使う用意が出來ているので，使う機會を與

えてやらなければならないということを覺えていなければなりません。六ケ月の間生徒を全然病室に入れないということはよくありません。生徒は教わつた方法を實際に使う機會がないとわすれてしまいます。

一方また最初から生徒を長時間病室に出して，只使い走りをさせたり教わりもしないことをさせたりしてはいけません。生徒は動作をすつかり習得し何をするかをわかるまでは，一つのことをする用意が出來ているといえません。ですから生徒が教わつていないことをさせることは，生徒にとつていやなことであり，學習の邪魔になります。

常に覺えておかなければならないもう一つの法則はこれであります。

「學習はそのなさるべき活動が，必要物を滿足させるための手段であるか或はまた大切な目的を達成するための手段である時は最も効果的である」

この法則は容易に理解出來ると思います。その意味は只，私共が何か本當に習得しなければならない必要を感じるものは直ぐに習得してしまうということです。この例は次のようであります。中學校で女學生に赤ん坊の世話の仕方を教えるとします。面白いので生徒は，かなりよく覺えるでしよう。然し，間もなく赤ん坊を產もうとしている婦人程に早く，よくは覺えないでしよう。赤ん坊を產むその婦人は，赤ん坊の世話の仕方を知ることに對して非常に强いしかも直接の必要を感じますので，覺えも早くまたよいのであります。

この法則を實行に移すことにおいて，教師としての貴方の役割は何ですか。それは單にこれだけのことです。生徒に教えようとする處のものに對して**必要性を感じさせるように生徒を刺戟することです。**この必要が生徒をして行動するべく用意させるでしよう。何か必要な時は，そのものを得るために何かする用意が出來ています。（ですから實際私共はこの二つの法則を一緒に使います）生徒は教師が何を教えようとしているかを知り度

いと思わなければなりません。そして生徒はそれを知るための本當の必要を持たなければなりません。

此の慾望や必要を動機といいます。生徒は學習に對して何等かの動機をもたなければなりません。さもなければ覺えるものではありません。一つのことを覺えるに全精力を集中させるのでなければ覺えません。そしてそれが必要である場合にそれを習得するために努力を集中します。これははつきりしましたか。一つのことを幾度も讀んだり見たりしたからといつて，その讀んだり見たりしたことを覺えているという確信は出來ません。例えば私が皆樣方に，明日或る店のショー・ウインドーに並べてある花瓶の數を敎えてくれた方にはキャンデーを一ポンドずつ差上げますと申上げたとしたら，きつと皆樣方はその窓をのぞき込んで並べてある花瓶の數をかぞえてそれを覺えることに集中なさるでしよう。然しその花瓶の數を覺えることに對して動機がなければ，毎日その窓の側を通つて花瓶を賞めても，いくつあるかは記憶しないでしよう。

この學習に對する動機を作るということは最も價値ある敎授の助けとなるものであります。もし生徒が學習の必要を感じれば，學ぼうと努力し，敎師の荷は輕くなります。如何にして動機を起させるかの例を二，三あげて見ましよう。

私はこの講義の最初に，生徒に必要感を起させる一つの方法を採用しました。卽ち幾つかの質問をいたしました。さて，もし貴方が質問をうけてその答えを知らなかつたら，貴方は必要を感じます。――解答を與えるために充分な事實を知る必要があります。

これ等の質問をすることにより，皆樣方の中に，解答を知り度いという慾望を起させ，そのために，習得しようとして一生懸命に講義を聞いて下さるようにと願つていました。

それからもう一つ私が使つた方法，この方が多分もつと有力かも知れませんが，それはこの講習會で皆様方にも教わつて頂くといつたことです。これは皆様方の學習に對する特に強い動機を與えたことになります。間もなく使わなければならないものであれば，何でも早く覺えます。そこで教師である皆様方は，生徒が自分達の教わつたことを使わなければならない場所である病室の方へ出かけてゆく時は，この動機（生徒に行動の用意をさせる）を起す法則を利用なさるでしよう。

例えば，前に述べました喘息患者の部屋へ入つて行つた小さな一年生を例にとつて見ましよう。この生徒はまだ教室で喘息患者のことを教わつていませんでした。けれども，患者が大變呼吸が苦しそうで氣持惡そうにしているのを見て，自分もこの患者を何とかして樂にしてあげられるように喘息のことを知る必要を感じたに違いありません。本が自由に手に入るような時代になりましたら，生徒が自分で問題に直面し，知る必要を感じる都度，自分で本の所へ行つて喘息の原因及び其の看護法を探し出す位に生徒に充分な興味を起させるようにし度いものです。もしこの一年生がその時その場で何とかして喘息に就いて探し出し，そこに書いてある看護法をすることが出來たとしたら，その生徒は喘息患患者の看護法は絶對に忘れないでしよう。將來に於てその同じ問題に出くわしても，或はまた，それが試驗に出たとしても其の生徒は，そのことを全部知つているでしよう，何故ならば彼女は，そのことに對して最も必要を感じていた時にそれを習得したからであります。

必要と動機は，質問や，本當の患者と看護婦の場合の例を擧げることによつて人工的に作り出すことが出來ます。そうすることにより生徒は自分の頭の中で自分を其の看護婦の立場に置き自分だつたらどういう風にするだろうということを考え出すようにつとめることが出來ます。例えば貴方

が今日教室で牽引患者の看護法を教えるとしましよう。そして次のような言葉で始めるとしましよう。「今日は牽引患者の看護法をいたします。それには十程覺えて頂き度いことがあります。」といつてそれを書かせます。生徒はあとで試驗の時に覺えるかも知れませんが，教室では覺えなければならないと思つていなかつたので，特に覺えることをしないでしよう。貴方は生徒に覺えようという動機を起させなかつたのです。今度はこのクラスを次のように始めるとしましよう。

「私はこの間　棟へ參りました，そして十號の部屋へ入つて見ますと一人の生徒が安部さんに全身淸拭と朝の洗面をしてあげてる處でした。安部さんは結核性の股關節炎で牽引をしたまま仰臥しています。その日は暑い日で安部さんは發汗していました，そして安部さんの背中も寢具もぬれていて大變氣持が惡いと訴えていました。安部さんには全身淸拭，敷布の交換等が必要でした。そして背中の手當は特にに大切でした。ですからこの生徒は難問に直面していました。牽引をゆるめないで安部さんに出來るだけ苦痛を與えないようにして，どういう風にして全身淸拭をし，背中の手當をし，敷布交換をして氣持よくしてあげたらよいでしようか。どうすれば牽引のままもつと氣持よくしてあげられるでしようか。今このベツドの中へ，安部さんと同じように牽引した人形をねかせました。さあ，この患者さんに何をしてあげましよう。」

さて教師が牽引患者の看護法を教室でこのようにして始めれば生徒の一人々々が病室で牽引患者を受持ち，その場合に直面する總べての問題を提供された形になります。そこで生徒は學ぶ用意が出來ました。生徒は問題に直面し，それを如何に解決すべきかを知り度いと思つていますので教師が語ろうとする處は生徒が感じている實際の必要に對する解答となりましよう。

いつでもこのように出來るとは限りませんが，出來そうな場合は，する

ように努力して下さい。生徒が學ぶものの結果に於て教師は大いに報いられると思います。

動機を起させようと思う時は，教師としての自分の目的を忘れないようにいたしましょう。即ち生徒によい看護婦となつて患者によい看護がしてあげられるように教えることです。私共の目的は決して只生徒が試驗に合格さえすればよいということであつてはいけません。ですから私共が目的をはつきり決めて，生徒に必要性を感じさせるようにする時は，教室內でなく病院に於ける患者の看護に集中させるようにつとめましよう。

時々私共は動機として試驗を使うかも知れませんが，その時はそれは最上の方法ではないということを實感いたしましよう。もし生徒に「來週は試驗をしますからこれを覺えなければなりません」といえば生徒はそれを覺えるでしようが，それは患者の看護のためではなくて試驗のために覺えるのであつて，病室へ行つて患者の看護のためにこのことが必要になつて來た時その全部が思い出せないでしよう。ですから動機として試驗は餘り度々使わないようにいたしましよう。

今まで申上げたことは教師としての貴方が，この學習の法則を如何に使い，如何に役立たせるかということの說明でありました。今までご說明しました二つの法則というのは何と何ですか（繰返す）

もう一つの法則は，或る事を度々使えば使う程よく覺えるということであります。

これは前に申上げましたが，教師は指導の立場に立ち，生徒自身に色々のことをさせることの必要性をいうことになります。生徒が何か教わつた時は，その技術なり，推理なり，事實なりを出來るだけ度々生徒に使わせるようにして下さい。絕えず前に教えたことを參照すれば，生徒は自分で學んだことを度々思い出さなければなりません。生徒が技術を習得する時

は，教わつたものは出來るだけ度々用いさせるようにして下さい。患者をベツドに坐わらせることを教えたあとは，教室で患者を坐わらせなければならない都度生徒にさせます。生徒の一人々々がそれを上手に出來るようになるまでは，教師は自分でそれをしてはいけません。症狀，原理，その他何でも一度教わつたことは次の時間に短時間でおさらいをさせます。

もう一つ立證されたもので，教師に大變役立つ法則は「**人が學んだことは，それを實行するに當り滿足を得たか，いやであつたかによつてその學んだことが，强められたり，弱められたりする**」

そこで，皆様方教師には，ご自分が生徒に對する態度においてのみでなく，病室や教室に於ける婦長や醫師の態度にまで大いに責任があります。教師が生徒にはつきりと自分達の目的は次のようなものである。即ち，

（1） 病氣の人を看護して健康を取り戻させる能力。

（2） 總べての人に健康を保たせる能力。

（3） 疼痛を輕減し，患者を氣持よくしてあげる能力。(生徒の眼前にある目的は試驗に合格することはではなく，人の看護をすることであることを教師は，はつきりと知つていなければならない。ことを教えたならば，教師は自分が教えるものは總べて生徒がこの目的を達成するために役立つものでなければなりません。)

或一つのことを，教えようか，教えまいかと，まよつている時は「これを學べば生徒は患者をよりよく看護することが出來るであろうか」と自問して下さい。もしその解答が「然り」であれば教えなさい！

ですからこれ等法則は總べて一緒になつて働くことがわかります。私共が何か必要なものを得る時は滿足感を得ることはおわかりになります。ですから生徒が必要を感じているものを教えたり或は生徒が自分で決めた目的に到達するようにしてやつたりすることは生徒に滿足感を與えることで

す。そこでもし私共教師が，生徒に必要を起させ，これ等の必要を充たし得るようにすれば生徒は早く，しかもよく覺えましよう。

教師はまた，小さなことでも，生徒が何か上手にした時に**それを必ず賞めてやることによつて，**生徒のこの滿足感を，大變左右することが出來ます。私共一人々々の心の深底には，よく評價してもらい度い慾望があります。私共は，誰か自分のしていることを評價してくれていると思えば一生懸命に働き多くを犧牲にすることもあえておしみません。生徒とても何等變る處はありません。生徒もこの賞讃を切望しています。ですからそれを得るようにしてやらなければなりません。もし賞讃を得れば前よりもつと學習に努力するでしよう。貴方ご自身でも，一寸した賞讃で，うんと頑張り最善を盡すように努力なさることはおわかりになります。

然し生徒が教室で上手に出來たことに對して滿足感を與えるだけでは充分ではありません。病棟の婦長さん達も成功の大きい力を知つているようにしなければなりません。生徒に何か知識にも推理にも挑戰になるようなものをさせ，自分で大丈夫上手に出來るという確信をもたせるのに必要なだけを手傳つてやり，そして上手に出來たら賞めておやりなさい。(然しこれは本當によく出來た時だけ賞めてやるべきで，上手に出來ないことに對して賞めることは價値のないことです）生徒は，多くを完全したような氣がして，もう一度，このような賞讃をかち得るために一生懸命にするでしよう。

もう一度，もとの例卽ち，喘息患者の部屋へ入つて行つた三年生の場合を考えて見ましよう。この生徒は患者を見て，自分が敎わつたことを全部しました。そして患者は氣持よくなり喜びました。醫師も喜び婦長も喜びました。もしこの醫師と婦長が賢こかつたならば，この生徒のしたことを賞めたでしよう。なぜならばこういう時賞められるということは，生徒に

大變な滿足感を與え，自信を增させそしてもつと勉强して他の患者の看護においても同じように上手にし度いという熱心さを增すからです。

敎師としての貴方は，この考えを婦長にも醫師にも吹き込むようにしてもし生徒が一生懸命に努力し，よい仕事をすれば，全體の經驗が愉快な樂しいものであるようにしなければなりません。もし生徒が敎室に於てのみ賞讃，滿足感を得れば，お講義だけ好きになつて臥床の看護が好きでなくなるでしよう。自分が上手に出來ると知つていることをするのは樂しみです。生徒に自分が上達しつつあるということを自分で知るようにさせなさい。

生徒に必要感を起させることに就ては既にお話しましたが，これと關聯したことで强調しなかつた一つのことは，これを完成することに於て，敎室と，**病室の經驗の相互關係によつて演ぜられる大きい役割**のことであります。

もし生徒が專門の科の病棟にいる間に敎室でもその專門の科のことを敎わることが出來れば，生徒はクラスに對してより大きい必要を感じるでしよう。例えばもし生徒が內科，外科病棟にいる間に，內科，外科看護法を敎室でし，手術場にいる間に，手術場機械操作を，產科にいる間に產科の講義をうければ，自分の習つたことを早く使うことが出來，そのために長く覺えて居り，もつと滿足も得られましよう。

もう一つの法則は「**生徒は自分で本當に理解出來るものを最も長く覺えている。**」

日本の敎育はこの法則を使うことにおいて大變おそかつたようです。

理解というよりむしろ暗記の方に力が入れられていました。ですからこの舊式の方法で敎育をうけられた皆樣方は，推理や理解ということになると，それの使い方を習つて居られませんので大變むずかしいようです。然

し，何か本當に理解出來れば，それを覺えることは何でもないということがおわかりになりましよう。そのためにこの講習會の始めの方で生理學を勉强いたしました。皆樣方に，私共の話していた事の「**何故**」を理解して頂きたかつたからです。また理解して頂き，他の方に說明してあげられる程よく覺えて頂きたかつたのです。

貴方は，生徒に，理解して覺えられるものを只機械的に覺えるようなことはしないように注意しなければなりません。理解出來ないものより，理解出來るものの方をずつと長く覺えているでしよう。

看護から一つ例をとつて見ましよう。

肋膜炎の患者を入院させる時に觀察しなければならない症狀を覺えようとしていると假定しましよう。もしこの症狀を箇條書きに一，二，三という風に覺えると他の病氣の症狀とごつちやになつてしまうか或はまた箇條書の中のいくつかの症狀を忘れてまようかも知れません。

然し，もし**何故**患者がこういう症狀をもつかを覺えれば，頭の中で，この病氣の症狀あの病氣の症狀と，切り離して覺えようとしなくても，肋膜炎の症狀というものが自然にわかつて來るでしよう。ですから，症狀を敎える時は患者の狀態から始めましよう。肋膜炎は二層の肋膜の炎症でありえます。正常にはこの二層はお互になめらかに滑り合つているのですが，肋膜炎（乾燥）の場合は，この二つの炎症した層が一緒にこすれ，又くつつき合い，その結果として，こすれる度に激しい疼痛があるのであります。

何が原因で肋膜の層が，こすれるのか？　それは肺組織の擴張と收縮であります。ですから，息をする時に痛みがあります。さて何か體に痛いものがあれば，體はそれを，さけようとします。そこでこの痛みのある時，患者は淺い呼吸をすればする程，痛みが輕いということを發見するので非常

に淺い呼吸だけします。然し淺い呼吸だけしかしないでいると，どういうことになりますか。充分な酸素が得られません。そこで體全體の細胞も酸素の量も減つて來ます。同時にまた二酸化炭素が早く排泄されないので血液中に增えて來ます。

これに對する體の反應は何でありましようか？　覺えていらつしやいますか。

これは腦の呼吸中樞に刺戟となつて働きますので呼吸がもつと早くなります。ですから患者は，淺くて**速い呼吸**をします。

また患者は患側を下にねていれば，體の重さが肋骨にかかり肋骨が擴がつて肺にあきを作るのをふせぐため，患側の肺が擴張せずにいるということを發見します。そこで貴方は，患者が**患側を下にねている**のをごらんになるでしょう。肋膜に感染があるので體は**體溫上昇**により肋膜を微生物にとつて不健康な場所にしようと努めるでしょう。

もしその症狀をこういう風に敎えれば，生徒は症狀を理解しますので，只箇條書きにして覺えさせるより遙かによく覺えるでしょう。看護にはまる暗記しなければならないことも澤山ありますから，容易に理解出來る事柄までまる暗記させて生徒の頭を混亂させないようにいたしましよう。

人は多くの感覺を通して印象付けられれば，付けられる程，早く覺え，また長く記憶しています。

貴方はどういう感覺をもつて居られますか。視覺，聽覺，嗅覺，味覺，觸覺，及び深部知覺（この深部知覺を說明すること）。

敎える際には，生徒が出來るだけ多くの感覺を使うようにさせなければなりません。

私共はこれ等の感覺をどのように採用出來るか考えて見ましよう。生徒が視覺を通して學ぶ材料は如何にして提供出來るでしようか。繪，掛け圖，

實物教授，黑板に書くこと，本，モデル，實物を見せること，特定の客觀的症狀を見せている患者を觀察すること等々。さて，私共の使う繪や掛け圖は，白黑，或は色のものがあるでしよう。色わけがしてあればもつとはつきりしますから，出來る處では色を使うようにしましよう。

聽覺を通してうけるものは，どのようにして提供出來ましようか。話すこと，息や，咳等の擬音，音を聞くこと（心音等）等。

嗅覺を通してうけるものは？ 藥品のにおい，患者の息，糞便等のにおい。味覺に關する限り看護に於ては餘り使うことはありません。只食餌の用意をする時と，それから生徒は藥の味も敎わつておいて，患者がこれからどんなお藥を飲もうとしているということが大體わかつていなければなりません。

觸覺は使うことが出來ます。如何にして？ 臓器の形，大きさを觸れて見ること，脈搏，皮膚の質，眼球の緊張，體の部分の溫かさ，冷たさをふれることを學ぶこと。

深部知覺は，看護法の機械的技術を敎える時以外は餘り用いません。

それでは，私共の敎授から例をとつて見ましよう。

生徒に十二指腸蟲病を敎える時に只それに就て話したり，それに就て讀ませたりするだけでは充分ではありません。掛圖で，十二指腸蟲が體內をどのようにして動き廻るか，又その蟲はどのような格好をしているかを見せます。十二指腸蟲の繪を用いてもよいと思います。然し患者から得られた本物の蟲が見せられれば，繪は用いてはいけません。常に，出來る限り本物を見せて下さい，もし繪を見せると，時々生徒は大きさを感違いすることがあります。生徒自身に，十二指腸蟲が足の先から入つて腸までの經路の繪を畫かせることはよいことです。そうすれば眼からも覺え，また畫くことによつて深部知覺でも覺えます。このような提供の仕方により，十

二指腸蟲に就て話している時は聽覺から，又生徒が讀んだり書いたり掛圖を見たり，本物の蟲を見た時は視覺から，その材料を提供したことになります。生徒は容易に十二指腸蟲に就て學びましよう。

これ以外に觸覺其の他にも訴えられる場合は，其の機會を見逃してはいけません。今は試驗室の道具がとても手に入りませんが，手に入るようになりましたら，必ず用いて下さい。動物の本物の心臟を見たり，觸つたりすることは，寫眞より遙かに其の價値が大きいでしよう。死體解剖はもし教育的にされれば，生徒が本物の臟器や，病氣にかかつた經過を心に描くことを學ぶのに大いに役立ちます。醫師は，手術場で摘出された臟器のフォルマリン漬け標本を教室へ持つて來て卵巢膿腫や．結核の腎臟等が實際にはどのように見えるか等見せることは大いに役立つことであります。

貴方の學校に參考室がなければ，早速臟器，蟲類，胎兒等を集めてご自分の參考室を作つて下さい。

以上の豫備知識をもつて實際に授業の計畫にかかる用意が出來たわけです。教師は自分の教授法を選擇する前に次のことを決めます。

（１）　一般に，どんな材料を教えるか。

（２）　教師のねらいとするところは何であるか卽ち，生徒に如何にして其の材料を使わせるか。

（３）　どのような設備で教えなければならないか。

（４）　級の大きさ。教師はどのような教授法を用いれば最も立派に教えられるか，じきにわかるでしよう。貴方は教授は大抵數種の教授法を混ぜ合わせたものでありましよう。

1　講　　義

これは教師だけが話しをする教え方であります。これは生徒の學習とい

う見地からいえば最も望ましくない方法といえましよう。何故ならば，生徒は全然加入しないからであります。教師が，生徒に澤山のことを筆記させたい時はこの方法は最大の價値があります。醫師はこの講義の方法だけを餘りしばしば用い過ぎます。これでは，生徒は，質問をする機會もなければ，自分で解らないところを，はつきりさせることもできません。

本當ならば，私は，この講義ばかりの方法はおすすめしないのですが，今日本では，本が手に入りませんから，これが生徒に參考資料を與え得る唯一の方法です。

2 暗　　誦

これは質問と解答の方法であります。これは，知識を試驗したり，材料を復習したり，生徒を推理するように刺戟したりするのに用いればよいでしよう。（推理には如何なる四階段がなされなければならないか）教室で暗誦の時は，生徒の考えはこれ等四階段にそつて導かれてゆくことが教師にわかりましよう。例を舉げて見ましよう。貴方は外科看護法を敎えています。お話は出血患者を見守るという處に來ました。生徒にその場合を推理することを敎えたいのです。そこで貴方は，一つの場合を作つて生徒を其の中へ入れてしまいます。そうしてこういいます。「伊藤夫人は腎臟膿腫で今朝摘出して貰いました。貴方は準夜勤で伊藤さんの狀態を調べにゆかなければなりません。お部屋へ入つて見ると伊藤さんは，落付かない樣子で少し蒼ざめています。當然ベッドの側へ行つてご氣分は如何ですかと聞きますと同時に，伊藤さんの脈搏の上に貴方の指を置きます。速いような氣がするので數えて見ますと，128 あります。呼吸は 24 あります。皮膚は少し冷たくじつとりとしています。伊藤さんは氣分は良いがもう少し空氣が欲しいそして坐ればもつと樂に

呼吸が出來そうだといつています。さて，この觀察の中で何が大切でしようか？　そして其の重要性は？」ここで教師は自分でその場合の繪を全部提出して，生徒にその問題をより出させようとしています。生徒は次のことの重要性が理解出來るように導かなければなりません。

1　速脈，速呼吸

2　蒼白

3　そわそわして，空氣を欲しがつていること

4　濕冷の皮膚

教師は生徒にこれ等の症状は何を指すかをきくことによつて進めてゆきます。生徒は「ショック」か出血か迷うかも知れませんが，そわそわして空氣を欲しがつていることが，多分出血ということを意味しているだろうと摘出してやらなければなりません。さて生徒が決定しなければならない本當の問題は，

（1）出血部位を發見してそれを止めること。

（2）失われた血液の量の水分を補給すること。

（3）體に殘つている血液は最も大切な中樞に行くようにすること。

そこで生徒は，第三階段に達しました。自分の知識に照らしてこれ等の問題を解決すること。生徒は次のようなことをいうかも知れません。

（1）を解決するために，直ぐ上の寢具をあけて繃帶を調べて見る。ここで教師は，これまで生徒が氣がつかなかつた追加の問題を考えるように導くことが出來ます「もし繃帶の上に血液が見えなかつたらどうしましよう？」もし患者は出血していないのだというような解答である場合は更に，こういうことを摘出しなければなりません。即ち，出血は往々にして繃帶からにじみ出る代りに皮膚をつたつて患者の背中の下に溜ることがあります。ですから，看護婦は繃帶を見ただけで止めてはいけません。患者の背中の下になつている敷布が調べられる位い患者を轉がさな

ければなりません。」もし傷から出血があることを發見すれば，生徒は自分でか或は誰かにたのんで直ぐ醫師に知らせなければなりません。

（２）の問題に關しては生徒は，醫師が，水分補給のために靜脈注射或は輸血を命令するまで待たなければなりませんが，患者に水を澤山飲むようにすすめることはできます。

（３）の問題は，ベッドの足元の方を椅子又は，木片の上に揚げることにより重力で血液が體の最も大切な部分である腦と心臟にゆくようにすることによつて解決できましよう。患者の大切な臟器を働かせておかなければならないことを考えれば，脚に行つている血液はむだなようなものであります。

これで生徒に自分の推理で問題を解決させる過程を終りました。解決の批評に就ていえば，教師が生徒の考えを導いてやる限り，その判斷は良いに違いありません。然し教師はここで，次のことを指摘したらいいでしよう。卽ち，もし看護婦がその繃帶を調べた時，出血を見なかつたからというので，醫師に報告しなかつたとしたら，患者の背中の下を見おとしたということは，患者の生命をも犧牲にしたかも知れない程の重大な間違いでした。

この暗誦法は，容易に講義と一緒にできて非常に價値ある教授法になります。

3　實驗法

この方法においては生徒は實際に實驗をしたり，實際の方法をしたりします。これは，細菌學，解剖學，看護實習，調理法等に使用できます。この方法の時は，何を完成すべきかを紙片に書いた，實驗の手引ともなるものがなければなりません。看護實習に於ては，實習教本が手引になりましよう。然し教師は生徒に，實習だけをさせておかないで，目的，

自分ののぞむ處の結果，或はまた患者に對する心理學的な接近の仕方等を理解するように指導してやらなければなりません。この方法は技術を敎える場合は缺くべからざる方法であります。尙又事物がどういう風な仕組になつているのかを生徒に理解させるのにも役立ちます。生徒はそれを自分で組立てて見たりすることができます。

4　設 計 法

これは，敎師の指導で生徒自身が計畫し，實行する一つの活動であります。これはできるだけ實生活に近いもので，しかも敎育的價値をもつていなければなりません。例えば，

1　診療所に於て公衆を敎育するための告知板。

2　玩具を作ること。

3　赤ん坊の着物の見本を作ること，或は患者に實物敎授をするための赤ん坊のベッド。

4　健康に關する小さな劇，或は人形芝居をすること。

5　結核病棟の患者に小冊子。

5　實 物 敎 授

これは，物事をどういう風にするか或は，そのものがどういう風な仕組になつているかを實際に示すのであります。患者清拭，その他の長い看護法の實物敎授は別として，その他は一時間中ずつとこの方法ばかりを使うようなことは滅多にないと思います。然し，これは大抵の看護のクラスの大切な部分でありましよう。ここでもう一度，完全な實物敎授の重要性を強調し度いと思います。然し，萬一，一つの方法を實際にして見せている間に，間違いをしたり，或は思いもよらない出來事が起つたりした場合は，病棟の實生活に於てこのような場合は如何に處すべきか

を說明し，實際にして見せなければなりません。間違いや不意の出來事があつたからといつて，混亂狀態になつてはいけません。そうなることは，生徒に大變悪いお手本となりましよう。急を要する場合に，如何に行動すべきかを生徒に示さなければなりません。決して間違いを知らん顏をしたり，或は間違いをしなかつたような顏をしてはいけません。

これは，生徒が實際にしているのを觀察する時も大切なことであり，生徒が間違いをしたり，不意の出來事に會つたりした場合は，その仕事を中途で止めてしまつたり或は始めからやり直そうとしたりしないで，終りまでやり遂げさせるように，元氣付けてやらなければなりません。

6 見　學

この方法に於ては生徒は病院の他の科，或は他所の病院へ，何をしているかを見にゆきます。この方法は特に社會學や，公衆衛生を教えている時に大切なそして又非常に價値ある方法であります。見學の場所としては，

工　場
淨水池
採乳場
孤兒院
公衆衛生機關
養老院

然し，生徒を只連れてゆくだけでは充分ではありません。教師は見學の場所に先に行つて，特に生徒に見せ度いものを指摘しなければなりません。生徒を案內してくれる人は，生徒が何故來るかを知つていなければなりません。それから生徒の方も，その見學に對する用意ができていな

ければなりません。生徒は何を特に氣をつけて見なければならないかを敎えられていなければなりません。見學の目的は非常にはつきりしていなければなりません。大抵，見學から何を得たかについて各生徒に感想文を書かせるべきです。見學から歸つてから，生徒達が見て來たことについて，お互いに意見を述べ合うクラスがなければなりません。見學のあとにこういうことをしなかつたならば，見學は一つの物見遊山にすぎないものになるでしよう。見學は，敎育的でなければなりません。さもなければ時間と勞力をかけた甲斐がありません。

7　相　談　會

相談會は一學科目の細かな說明をする方法として，非常に價値があります。相談會からよい結果を得るために，限られた人數でなければならないということを記憶しなければなりません。

相談會には二つの種類があります。一つは個人々々ので，もう一つはグループのであります。個人々々のは，病室管理の時，くわしく說明いたしましよう。グループ相談會についてもその時くわしくいたしますが，ここでは只，グループ相談會の人數は，2人から15人までだということを申上げておきましよう。

人數を制限するばかりでなく，大體同じ程度の經驗をもつた人達のグループでなければなりません。誰もが意見を交換できるためには，これは大切なことであります。

後に說明いたします病室での相談會は，これの典型的な一つの例であります。

この他にも色々の方法がありますが，現在の私共の學校で使うのには餘り實際ではありません。ですから次に掲げる方法から撰擇して下さればよいのです。

(1) 講　　義

(2) 暗　　誦

(3) 實　　驗

(4) 設　　計

(5) 實物教授

(6) 見　　學

(7) 相 談 會

皆樣方のお教えになる授業の大部分は，おそらく，(1), (2), (5) を合わせたものでしよう。しばらく講義をして，大切な點，或は方法を實際にして見て，それから暗誦をさせるでしよう。

さてそれでは實際に一つ一つ**授業を組立てて見ましよう**。皆樣方からできるだけ吸收して頂くために次のような計畫を用いましよう。看護實習の講義を計畫することに就て考えて見ましよう。始めに一學科課程全體の計畫をしそれから一講義の計畫の仕方を說明いたしましよう。

看護實習では緖論が非常に大切であるということを，先ず考えなければなりません。それは看護に於ける他の總べての學科課程の基礎をなすものであります。これで患者の實際の看護に生徒を始めて紹介するのでありますから，生徒が良い態度を現わすということが大切であります，何故ならばこれ等最初の態度は長續きし勝ちなものでありますから。ですから私の先ずすべきことは腰をおろして考えて，それからこの課程を教える目的を書き出して見ます。

自分が看護實習を教えるとして先ず第一に頭に浮んで來ることは自分は生徒に多くの技術と方法を教えなければならないということです。そこで私は，自分の第一の目的を次のように書くでしよう。

1　生徒に看護とは科學であり技術であると敎えること。從つて生徒は患者の慰めと治療のために，原理と同じく技術と種々の看護の方法とを習得しなければなりません。

生徒を始めて看護というものに紹介するに當り他に何を完成したいと思うでしようか。

2　生徒に自分の健康を維持することに對する責任感を起させること。

3　生徒に，新しい場合に於て自分で推理するように敎えること，換言すればあらゆる種類の患者に對するそれぞれの看護法をどのように計畫立てるかを敎え，それを練習させるのであります。そうすれば生徒は各々の患者の必要に應じて自分の看護の方法を取捨し，適應させることができるようになりましよう。

4　患者とその家族に健康的な生活の原理を敎える責任をとらなければ患者が病院で實際に病氣の間よい看護をしてあげる能力は非常に價値の少いものであることを，生徒に實感させるように導くこと。

さて，この課程に於てしたいことを，この四つの目的で全部包含したような氣がいたします。もしそうであれば，この目的を見て，私共に得られる種々の敎授法を考え，どれを用いるかを決めます。私共の使つてもいい方法は何と何だつたでしようか。講義　實物敎授，暗誦，實驗，設計，見學，相談會。

講義　健康的な生活，保健指導，社會に對する責任等と關連した理想を生徒に敎えるために，また色々の場合に看護法の原理を敎えるために或程度の講義は必ず使わなければなりません。

暗誦　勿論であります。生徒に思考させるのにこの方法は絕對的なものであります。推理力を敎えるのに必要であります。

實物敎授及び實驗　技術を敎える上の唯一の方法でありますから必ず用い

ます。

設計　この方法は今度は使わないで，もつと進んだ課程の時のために，とつておきましよう。この方法を成功させるのには，それに費す時間に値いするだけの背景を要件とします。

見學　講義の中に出て來る病院の中の物を見る程度の簡單な見學にすることができます。

相談會　生徒が順應するのを手傳うための個人々々の相談會。

さて，これでどのような方法が自分に使えるかを考えましたので，今度は授業の計畫にかかりましよう。例として，私は只手當り次第の一つの看護の方法を一時間の授業に選びましよう，そしてそれをご一緒に計畫しましよう。今日のお稽古に，特別の背中の手當てをとりあげて見ましよう。

最初の自問自答として「生徒が褥創の恐ろしさを卽座に感じそして，もし褥創ができたらそれはいつでも全く看護婦の手落ちであるということを敎えるためには，どのようにしてこの授業を始めるべきであるか。」

（誰か褥創を見たことがあるか聞くこと，もしあれば，その人に褥創について話させるか，さもなければ，自分で話しなさい。）

それでは，紙片に，次のことを書いておきなさい。

1　生徒に褥創を叙述させること。

2　患者がこの餘計な痛みと不快感に苦しみ，或はまた死の原因ともなるのであるが，生徒はその責任者の一人であることを生徒に印象づけること。貴方は，こんなことに責任を感じ度いですか。もし感じたくなければ，褥創の豫防法を知つておくことが絕對に必要であります。

これで舞臺ができました。患者の死の原因ともなり得るものの豫防法を知ることに對して生徒一人々々にその責任を負わせました。これは，學習

のどの法則を導き出しているか。(「自分が必要を感じている ものは覺える。) 又「人は行動の用意ができている時に」) 褥創のできる原因及び誘因に就て說明しなければなりません。

3 原因及び誘因

4 褥創のでき易い患者の種類

5 症狀

6 豫防(看護法)

勿論褥創ができたあとの治療のことに就て說明を加えなければなりません。

7 治療と看護法

さあ，これで私は紙に，自分が包含したいと思う大事なことをみんな書いて持つています。七つあります。(再讀) これで骨組を書く用意ができました。骨組の書き方は，敎師の數と同じ程澤山あります。然し，私が自分で貴重だと思つた方法を一つ申上げましよう。最初，下の方に少し餘白を殘してずつと線をひきます。次のようにして用います。

講　義

こういう括弧内に書いてあることは教師としての貴方に對する私の註解であつて，教案の骨組に入るのではありません

それではこの教案の骨組を造り始めて見ましよう。

黑板使用
質問，解答
實物教授
必要物品

特別の背中の手當

誰か褥創を見たことがありますか。

どんなものでしたか。(註 1)

註(1) 叙述しなさい。
口があいている　汚穢
潰瘍　分泌多量　深い
出血
二次的感染・毒素の吸収--死

もし一度褥創を見れば決してそのきたなさは忘れないでしよう。患者は何ともいえない疼痛と不快感に苦しみ，前にいいましたように，死に到るかも知れません。さて，皆様の中でまだ實感された方がないと思いますが，それは，もし患者にこのようなものができたとしたら，看護婦は，自分だけに，非難の指を指すことができるということです。何故ならば，よい看護はこのような悲劇を防ぎ得るからです。例外は滅多にありません。

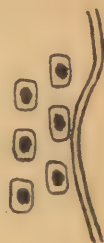
それでは一寸，この狀態の原因を考えて見

ましよう。一つの直接のしかも根本的な原因と幾つかの誘因とがあります。

褥創の直接の原因は，その部分の血行障害でその結果は組織の死滅であります。

解剖の勉強から，皆様は組織を通しての血液循環が何故細胞の生命に大切であるかということはおわかりになります。

どなたが，そのわけを説明して下さいますか？（註 2）

註(2)

食物と酸素と炭酸ガスの交換。それがなければ細胞は死んでしまう

ですからこの循環は組織細胞の生命に絶對に必要なものであることがわかります。もし何かが血管内の血液の通路を邪魔するようなことがあれば細胞は死にます。

ですから私共は循環を障害する處の要素を探すことによつて誘因を探さなければなりません。さて誘因にはどんなものがありましようか。（註 3）

註(3)

1，薄い皮膚が骨ばつた部分を覆つている處に體重がかゝること。

はい，それでは骨ばつた處が表面に大變接近した部分で特に危険な場所はどこです

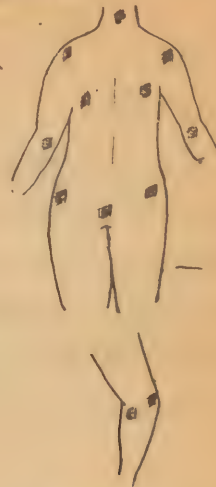
か。(註 4)

これ等の部分を壓迫するのは體の重みだけですか。(註5のイ)

體重や不平均な壓迫にかてて加えて，他に褥創になる傾向を增すものには何がありますか。(註5のロ)

さてこれ等誘因のことを頭においている間に，どのような種類の患者は特に，皮膚がくずれて來る症候に注意しなければならないかを考えて見ましよう。

どなたかいえますか。(註 6)

註(4)背中

黑板に書く。

註(5のイ)否。—ギプス。副木，繃帶，寢具，牽引，しわになつた敷布，着物或はパン屑のようなもの等。
ギプスの內側に卷いてあるもの或はギプス自身のかけ方が悪い時。
着物のたたみ目。

註(5のロ)
2，熱
3，濕氣
尿
糞便
汗
膣分泌物
4，部分が一緒にすれ合うこと。
5，背椎骨折或は骨折等におけるように神經供給の障害。

註(6)
1，總べての整形外科患者

(次頁へ續く)

2，年寄りのように循環のよくない患者，長い間病床にある患者・及び或種の心臓病。
3，貧血患者。
4，悪性腫瘍患者。
5，長期に亘る感染性疾患患者
6，痲痺患者。
7，兩便失禁患者。
8，非常にやせた患者。
9，肥滿。
10，糖尿病患者。

さて私共がこの狀態を防ごうとしている時褥創ができそうになつているという警告を二三もつているということは幸いなことです。然しもし私共がこれ等の症狀を知らずに，何の行動もしなかつたならば，次に患者を診る時はもう口の開いた病竈となつているでしよう。

この症狀というのは何でしよう。先ず最初に貴方は何を見何を感じますか。（他覺的症狀。)(註 7)

註(7) 發赤，熱感。
壓痛。

患者は何を訴えますか。(註 8)

註(8) 不快感。
ずきずきする痛み。

發赤と熱感は，自然が救助に來たので．その部分に壓迫がなくなるや否や，增加量の血液をもつて來て榮養が細胞に屆き老癈物を持ち去るようになつているのだということを示しています。

この追加量の血液の存在が發赤と，熱の原因となります。この時期に於ては，組織はまだ健康ですから，もし直ぐ手當を始め，度々それをすれば組織はたすかります。がもしそれをしなければ組織は確かに死んでしまい口の開いた傷になつてしまいます。

もし壓迫がゆるめられなければ組織はもつと欝血し遂に循環はたち切られてしまいます。

静脈が先ずたち切られます。何故でしよう？（註9）

註（9）壁がより薄い。

静脈循環の障害は何故動脈循環に影響するか。それは組織に如何なる影響を及ぼすか。（註10）

註（10）静脈血が大循環に歸つてゆくことが出來ない時は新鮮な動脈血がその部分に入つてゆけない。從つてその組織内の細胞は榮養が得られず，また老廢物も排泄出來ない。

動脈血が遂に全部斷たれてしまうと，其の部分は打撲傷のように青く斑になつて來て，熱くなる代りに冷たくなります。その部分は壓痛の代りに感覺がなくなります。

壓迫が速かに除かれ，循環がもう一度とり戻されなければ組織はきつと死んでしまい本當の褥創が現われるでしよう。組織は一度死んでしまえば，もとへは戻せません。脱落するか，或は吸收されなければなりません。褥

創の治療に當つては腐肉をとつてしまいます。そして口の開いた生身の表面，或は潰瘍が殘ります。死滅した細胞のあとにできる細胞はもとの細胞とは違います，この新らしい組織のことを瘢痕組織といいます。

この潰瘍は非常に治りにくいものであります。特に普通褥創のできるような患者の種類においてはそうであります。このような患者は新陳代謝は低く，抵抗力も弱いのであります。

さて褥創の進行性症狀をどなたか，まとめて見て下さい。(註11)

このように褥創の原因やどのような患者が特別の注意を必要とするかを知つていれば，口の開いた褥創ができるのを豫防するためには，看護婦はどのような方法を講ずればよいかがいつていただけましよう。(註12)

ゴム環の使用に當り看護婦は何を注意しなければならないか？ 註(13)

註(11)
1，發赤
2，熱感
3，刺す樣な感じ
4，壓痛
5，靑色
6，冷感
7，組織の死滅

註(12)
1，壓迫を除く
a. ゴムの環
(ゴムの環を見せる)

註(13)
說明しながらして見せ

る。
(1) 餘り一ぱいにしないこと。そうでないとかたくなつて他の場所に褥創を作り易い。
(2) ゴム環の被いがしわになつていないようにすること。
(3) 餘り永くゴム環をしておかないこと。
(4) 栓は決して患者に觸れる所にやらないこと。

壓迫をゆるめるために看護婦は他にどんなことをしなければなりませんか。(註14)

註(14)
b. 綿の環を繃帶で卷いたものをお こと。
作り方を實物教授する
c. 褥創の初期症狀の出ている患者には便器の背中にあたる處に當をする。

これは非常に大切な點であります。屢々弱くなつて循環の惡いところの組織が，只くずれて，便器をとりはずした時に組織が便器にくつつきます。これをよく注意して見て下さい。壓迫をゆるめるのに他にどんな方法を用いますか。ゴム環，綿環，便器の當てを擧げました。(註15)

註(15)
d. パン屑やしわを除く。
e. 患者に度々ねがえりをうたせる。

「屢々」という言葉の解釋は患者の容態によります。三時間に一度という意味にもなれば毎時間という意味にもなります。これは特にギブス患者において大切であります。さて，

壓迫の豫防の他に看護婦はどのようなことに注意しなければなりませんか。(註16)

註(16)
2. 患者を清潔にして乾かしておくこと。
a. 浴
b. パン屑等を除く。
c. 尿，發汗，便等でぬれた場合は速かにかえること。

患者が清潔な乾いた着物やリネン類を着ているというだけでは，充分ではありません。皮膚をすつかり石けんとお湯で洗い，よくゆすぎ，よく乾かし，しかもそれを靜かにするということが大切であります。尿や汗が皮膚に作用すると皮膚が弱くなり勝ちです。

壓迫をなくしたり，患者を清潔にまた乾かしておく外に褥創の豫防として何ができますか。(註17)

註(17)
3. 患者を屢々こする，特に刺戟される部分を。

そうです。これは最も大事な看護法の一つであります。そして看護婦は，このこすること卽ちマッサージをどのようにすれば最も效果的であるかを知らなければなりません。餘りに多くの看護婦は背中をこするということは，只背中をこすることだけであると思つています。(註18)

註(18)
下手なこすり方を簡單にして見せる。

本當に其の部分の循環をよくするためには

目的をもつて，また考えをもつて，こすらなければなりません。自分がこすつている場所の靜脈血及び淋巴はどの方向に流れているかを知らなければなりません。そして一生懸命に，その部分の血液は血管，淋巴液は淋巴管を通して押し出し，新鮮な動脈血が入つて來るようにしなければなりません。

尾骶骨の上に赤い部分を見付けたとしましよう。(註19)

註(19)
人形或は生徒で實物教授。
白墨或は鉛筆で赤いしるしをつける。

さて私の目的は靜脈血をこの部分から追い出すことでありますから，血液を心臟に向つて靜脈を通して押しやるということを頭において，其の部分から肩に向つて相當強くマッサージをします。(話しながら實物教授。動作をゆつくりにする。)赤くなつた部分自身を餘り強く押すと，やわらかい組織をいためる恐れがありますから，あまり強くしません。其の部分の上は，輕い輪狀の動作にして，やはり一般に心臟に向つてします。

實　物　教　授

其の部分は一時的には，もつと赤くなるかも知れませんが，これは只循環のよくなつたことを意味します。

さて，こする時に，アルコールと粉がある

とよいと思います。そうすると皮膚がかたくなつて，よくかわきます。然し，それ等がないから，何もできない等と考えてはいけません。刺戟物質を除くために背中をすつかりきれいに洗つて，よく考えて，こすれば，それは，充分であります。

さて，表面がこすれるのを防ぐために何をすればよいでしようか，たれ下つている部分を離れさせて，乾くようにするためには，特別の世話をしなければなりません。(註20)

註(20)
4 肥つた或はたれ下つている部分を保護する。

ガーゼ又は綿の當てを入れて，屢々とりかえるようにします。

患者が，ずつと，たつた二つか三つかの位置にしかねていられない時，特に牽引やギプス患者の場合は，足先，肩，膝等のようにつき出た部分の上にかける寢具はよく支えがしてあるように看護婦は氣をつけなければなりません。(註21)

(註21)
5. 上の寢具を支えるために枕か被架をベッドの中に入れる。
枕，板等を入れる。

實物教授

枕を入れても同じ場所にずつと置いておいてはいけません。そうすると，また新たに壓迫される所ができて來ます。

さて，皆樣方看護婦は褥創ができ易い患者の型を直ぐに認識するように自分を訓練しな

ければなりません。

どんな状態が患者に褥創をでき易くするかもう一度お習いいたしましよう。(註22)

(註22)
1. 整形外科。
2. 循環の悪いこと。
老年，長い間病床にあるもの。心臓病。
3. 貧血。
4. 悪性疾患。
5. 感染。
6. 痲痺。
7. 兩便失禁。
8. 非常にやせているか肥つているか。
9. 糖尿病。

さて時々，できる限りの看護をしても褥創のできる時がありますし，又家庭において看護がゆき屆かず褥創になつて入院する場合もあります。ですから褥創が一旦できてしまつたら，どのような治療をするかを知つておかなければなりません。

一度組織が崩れてしまつたら，それは清潔にして外科的の傷と同じような處置をしなければなりません。醫師が藥物を命令し，そして少くとも一日に一回は傷を診るために繃帶交換をしなければなりません。其の他の時は其の傷を清潔にしておくのは貴方の責任であります。

時としてはこれは大きい問題であります。特に患者が兩便失禁である場合は。たびたび繃帶交換をしなければならないようになりま

しよう。

もし二次感染が起れば傷からの分泌は多くなり，傷は灰色になつて，急激に大きくなります。

乾燥することが治癒をたすける一つのものでありますから，看護婦は，醫師の許可を得て，一日に三回乃至四回 20 分から 30 分，その傷の上に反射器のついた電燈をつけて見るとよいと思へます。患者を横にして，電燈は餘り暑くないような位置におきます。

實物教授

マッサージをするのを忘れてはいけません。潰瘍になつた部分の周圍を，潰瘍そのものには觸れないように注意深くマッサージすることができます。皮膚を餘り強く，こすらないようにしないと，軟らかい新たにできかけた組織がくずれてしまいます。

これ等の患者を動かし廻る時は，そして，便器をかけたり，はずしたりする時は，繃帶を引張らないように靜かにしなければなりません。また，繃帶をとる時は注意深くし，手荒らにとりはずしてはいけません。手荒らにすると，小さな新らしい細胞をこわします。非常に氣をつけてしても，繃帶をとつた時はその表面から大抵出血します。時としては繃帶がかたく傷にくつついている時は，濕めさな

ければなりません。これをするのに最も易しい方法は，暖い滅菌水に浸したガーゼを，傷にくつついているガーゼの上におき，十分間位，そのままぬらしておいてからとります。

さて，先刻，兩便失禁の患者を淸潔に乾かしておく問題に就て申上げました。もし患者が兩便失禁する場合は，これは大きい問題であります。この問題を解決するために，看護婦はどのようなことができるかを，一寸考えて見ましよう。どういう御意見がありましようか。(註23)

註(23)
尿器をちやんとした位置におく。
每時間便器をかけて膀胱を押す。
古い綿と丁字帶，或はおむつを用う。
繃帶を乾燥させておくために油紙で蔽う。

生徒に意見を述べさせる機會を與えれば，貴方は，屢々それから學び得るということを忘れてはいけません。

これは注意深く觀察し，繃帶が空氣を通さない蔽いの下で濕つたままになつていないようにします。そうしないと，むれて來ます。もしぬれた場合は，蔽いをとつて，一日に數回，電燈で乾かします。(註24)

註(24)
二時間每に一時間乃至二時間腹位をとらせ，繃帶を乾いたまゝにしておくようにする。

さて授業の始まる前にお話した生徒の方達は向うへ行つてガウンを着て，ベッドの中に入つて患者になつて下さい。あとの方には，

どのベッドで働いて頂くか，これから申上げます。壓迫のかかる部分に印しをして，特別の手當をします。

授業計畫をご一緒にしましたが，それを終る前に，どの課目に於ても最初の授業時間が大切であるということに就て申上げ度いと思います。この時間にこの課程においては何と何をどういう風にして勉強するかということをすつかり紹介します。そうすることは來るべきものに對して生徒を準備させることになります。例えば，

1　本課程の目的を生徒のために箇條書にしてやる。多分，貴方のご自分の目的を言葉を換えて生徒の動機となるようにしてやることができましよう（「生徒に，看護とは科學であると同時に，技術である」という代りに「看護を習得するということは云々」といえばよいのです。）人は自分が何のために一つの課程を勉強しているのか，そして，それから特に何を自分が得るのかがわかれば勉強しているうちに，これ等のものを探し求めることができます。

2　貴方がどのような教授法を使うか，そして又生徒として，それ等のものから何を豫期されるかということを説明します。例えば，

（A）小兒科の授業

級を五名ずつのグループに分けます。そして各グループが，一週間ずつ小兒科外來の掲示板の準備を受持ちます。皆さんはできるだけ早く集つてどういうものを掲示板に使うかを計畫しなければなりません。これを12月10日までに私の手元まで出して下さい。そうすれば私の方で二つのグループが同じものを選ばないように取計いますから。私が貴方がたの扱う題目を承認しましたら，あとは貴方方の責任です。お手傳いの要る時はいつでもいたしますから。

（B）皆さん方の筆記帳を，いつ拜見するかわかりませんから，いつもきちんと整理しておいて下さい。筆記帳はインクで書いて下さい。採點の時，$\frac{1}{4}$ は筆記帳からとります。

(C) 中間試驗と學期末試驗の外にも，ちよいちよい短い問題を出します。次のようなもので最後のお點を決めます。筆記帳 $\frac{1}{4}$，論文と計畫 $\frac{1}{4}$，試驗及び試問 $\frac{1}{20}$

(D) 書き物は總べてインクでして頂きます。そして採點の際，きれいに書いてあるかどうかも考慮に入れます。且，叉提出期限がおくれた時は5點ひきます。

(E) 本課程に關聯した特殊な言葉を箇條書にしてあげます。そしてそれ等を本課程の終りには，よく知つていて頂き度いと思います。

(F) 三回程臨地見學をします。この見學記事の採點は學期論文と計畫の中に割り込みます。

或は，

(G) 筆記帳は拜見しませんから，筆記帳の整理に長時間費さないで下さい。授業中にきれいに筆記して自分で使うようにして下さい。

經驗でお學びになると思いますが，生徒に云つておかなければならないがことで，其の時に餘り大切ではないということがありましよう。然し生徒「私は先生がそれを採點なさるだろうとは思いませんでした」といつて來た場合には，よく考えて見て，もし，それをいい忘れていたのであれば，採點法を變えて，その特別の項目だけを取消してしまう方がよいでしよう。そしてこの次に敎える時はこの特別の項目を必ず話すように覺えていなければなりません。

さて今度は，**相互關係**という質問に對して答えて見ましよう。**相互關係とは何であるか**。相互關係させるということは，一つのものを他に關係させることであります。看護においては，概して敎室で敎わつたことと病棟の經驗とに相互關係をもたせる，或は叉，一つの學課目と他の學課目との

相互關係ということをいいます。教室と病棟の經驗との相互關係ということはどの看護婦學校においても一番大きい問題の一つとなつていますが，日本ではこれまで輕視されていたものであります。厚生省で教科課程を作りました。然し只それ等の授業をし病院において其の經驗を得るようにするというだけでは充分ではありません。兩方がうまく合うよう組まなければなりません。これが相互關係であります。そしてそれは，貴方の大きい惱みの種の一つであります。授業と病棟經驗とが平行するように組合わせることは，本當にむずかしいことであります。然しそれは，全體の問題のほんの一部分に過ぎないのであります。是等二つの經驗の分野の相互關係の方法は他にも澤山あります。

例えば生徒が看護實習で，病棟でできる或る看護の方法を教わつたら直ぐに，よく監督のゆき屆く小さいグループにして，病棟へ連れてゆき，教わつたことをさせるとよいと思います。例えば一人の教師が四五人の生徒を連れて，一つの大きい病室或は二つの小さい病室に行つて生徒に患者の淸拭をさせれば，かなり嚴重な監督ができましよう。自分達の教わりつつあることを實際の患者にして見ることができるということは生徒にとつて滿足を與えることでありましよう。また教師にとつても，患者によい看護を與えることが生徒の目的であることを生徒にいつも思わせておくのに容易でありましよう。

この初期の練習は，正規の勤務時間の受持であつてはいけません。教師或は，助手の一人が，そのグループを病棟へ連れてゆかなければなりません。然し，病室で，生徒にさせようと思つている特定の看護の方法を他の人が患者にしてしまわないように，豫め手配しておかなければなりません。

生徒が始めて病室で正規の勤務時間につくようになつた時は，教師は嚴重に監督して，その勤務時間中に立派な仕事ができる以上の仕事を受持た

されないようにしなければなりません。最初生徒は内科と外科病棟だけですから教師がこれ等の病棟へ毎日行つて主任看護婦と一緒に，各新らしい生徒にどの患者を受持たせるかを計畫することは容易なことである筈です。

適當な敎授のためには仕事受持表というのがかなり必要であります。

これは病室監理で說明いたします。

他に大事なことは**病室相談會**であります。この相談會は相互關係の最もよい方法であります。というのはそれで，敎室で敎わつたことに照して，一人の特定の患者についてみんなで意見を述べるからであります。そして又生徒の推理力を調べて見ることもできます。

あとで，病室相談會の實際をして見ますが，相談會を計畫する時に，覺えておかなければならないこと觀察しなければならないことの重要な點を指摘しておきたいと思います。

病室相談會は，醫師或は主任看護婦による**講義であつてはなりません。**それは**生徒同志の意見發表**であつて主任看護婦或は又醫師によつて指導されなければなりません。患者の看護の或る一面だけに就て意見を述べ合う場合は別として，一つの相談會に一時間はみておかなければなりません。一度にまる一時間使えない時は，別の日に三十分ずつ二度にしてもよいのです。

病室相談會を計畫するに當り覺えておかなければならない點。

1　ありふれた病狀患者で看護の面に問題を提供するような患者を注意深く選擇する。

2　相談會と各人の擔當は少くとも一週間前に作り，準備する時間があるようにしなければならない。

3　病狀と關連して解剖生理，それから患者のチャートやその病氣に就

てのノートを生徒に總べておさらいして來るようにいわなければならない。

4　特定の生徒に次のようなことを說明するように割當てること。

a　患者の履歷（興味，家庭，道樂，經驗，旅行等）

b　患者の病歷及症狀

c　命令された處置及看護法と，患者の協力。出くわした特別の看護の立場からの問題及びその解決法。

5　どの相談會も，患者の豫後及退院前に患者に敎えるべきことに就いてお互いに意見を述べ合つて終らなければならない。

6　只病名だけでなしに，患者の名前と病名を一緖に書いて，相談會の豫告をする。

7　相談會は，その時その病室に入院中の患者に就てでなければならない。

8　患者の履歷や看護報告をする生徒は，自分でその患者の看護に當つた人でなければならない。

9　全部の生徒が相談會に貢献しなければならない。（司會者はそのように取計らわなければならない。從つて司會者も注意深い準備をしなければならない。）

10　相談會は靜かな部屋ですること。もし生徒がテーブルの圍りに腰掛けられれば，その方がよい。

もし貴方が病棟婦長であれば自分の計畫した相談會の筆記帳なり，綴込みのようなものを作つておくことは大抵良い考えであります。そうすれば後に同じ草稿を使うことが出來ます。相談會は勿論，異つた患者に就てでありますが同じ草稿の多くが適用されましよう。少くとも解剖生理，及び醫學的面に關してはそうです。現在入院中の患者の疾病の種類に就て自分の病棟をよく硏究してから，生徒が自分の所にいる間に例えば六つの最も

よくある病氣について相談會をしようという風に決めなければなりません。總べての生徒にそれをするということは可能でないかも知れません。何故ならこのような病氣の患者が，その病棟にいないこともあるかも知れませんから。然しながら，内科や外科の病棟であれば大抵生徒は，同じ病棟に數回歸つて來ます。小兒科等のような專門科の病棟で生徒が一度で終つてしまう所では婦長はその點只最善を盡すより外仕方がありません。

それでは，良い病室相談會を實際にして見ましよう。

題　目　**肺炎の吉田夫人の看護法の計畫**
（相談會）

病室相談會の計画

題目　肺炎の吉田夫人の看護法

監督＝谷本さん，今週ずつと吉田さんは貴方の患者さんでしたね。あの方はどういう方か私共に話して見て下さいませんか？

谷本＝吉田さんは，三十五歳で四人のお子さんのあるお母さんでいらつしやいます。一番上の方が十五，歳一番下が一歳です。御主人は家の前に小さいお店を持つていて相當にしていらつしやるので吉田夫人は御自分の病氣の經濟的方面の事は心配なさらなくてよいのです。病院にいらつしやる間，どなたがお子さん方のお世話をなさるか伺いました處，吉田さんは御自分の妹さんがご一緒にいらつしやるばかりでなく，一番上の娘さんも可成お手助けなさるようで少しの心配もないとおつしやつていらつしやいました。

監督＝渡邊さん貴女は肺炎の醫學的面について簡單な要領をお作りになりましたが，それを皆樣の前でおさらいしてみて下さいませんか。

渡邊＝肺炎は數種の異つた型の細菌が原因で起る急性感染性疾患でありま

す。吉田さんのもつていらつしやる型卽ち大葉性肺炎は最も普通に肺炎球菌によつて起るのであります。肺炎球菌は嚢（カプセル）をもつた双球菌でそのカプセルが消毒藥や化學療法に依る破壞に對して，特別の抵抗力を與えているのです。ですから私達看護婦はこの菌で汚染されたものは他の菌で汚染されたものよりも，少し長くリゾールにつけたり或は，太陽に少し長く出しておかねばならないと思います。

大抵の場合肺の一つかそれ以上の肺葉の肺胞が侵されます。肺胞は滲出液で一杯になり，血液は毛細管を通じて循環するにもかかわらず肺胞には酸素がないので侵された肺葉から血液に少しも酸素が入つていないことになります。患者の體はこれに對して反應を示し，白血球が增加するのです。時には，45,000—50,000 にもなります。

監督＝渡邊さん，白血球の正常數は幾つですか？

渡邊＝一立方ミリに 5,000 から 15,000 だと思います。

監督＝谷本さんそれでよろしいでしようか。

谷本＝違います。15,000 は高いと思います。5,000 から 10,000 です。

監督＝ええそうです，他に體はどんな反應をあらわしますか？渡邊さん。

渡邊＝その外に，肺へ入つて行つて病原菌を殺す抗體をだします，そして患者がもし恢復すれば，感染が消退したといいます。滲出物が全部再吸收されるか或は咳と共に外にでてしまう迄は，咳嗽は多量の痰を伴います。

監督＝有難う渡邊さん。大變簡單でしたが今度はそれで充分と思います。來週豫防法に就てご一緒に考えて見る時，これをもう少しくわしくいたしましよう，今度は大本さん，貴女は吉田さんを入院させましたが入院の時は，どんな症狀をあらわしていましたか？　そして吉田さんは，そういう症狀がどんな風にして始まつたと仰有つていらつしやいました？

大本＝吉田さんのお話では，八月二十日までは何でもなかつたそうです，

その日に惡感が始まり，胃が氣持惡くなり，晩ご飯が頂けなかつたそうですそれに頭痛も伴い，左側胸部に，激しい刺すような痛みがありました。體溫はその時102度（39度）でした。翌日咳がでた時血線のある小量の濃い痰がでました。その次の日お醫者様の御診察の結果ご入院なさつたのです。

私は吉田さんをベツドに寢かせる時色々の症狀に氣がつきました。吉田さんは顏を紅潮させ眼をきらきらさせていました。呼吸は苦しそうで少しヒユーヒユーいつていました。非常に咳が强く，銹色の濃い痰をだしておりました。舌は乾きひびができて非常に衰弱しているように見えました。

監督＝吉田さんを入院させてどんな事をなさいましたか。先生が命令をおだしになる前にどんな事をしましたか。いいかえれば吉田さんを樂にしてあげるため入院の時どんな看護をしてあげましたか。

大本＝吉田さんが入院なさることを聞きそして肺炎だという事を伺つたとき私は病室へ行つて部屋の換氣をするために窓をあけました。ですがベツドに直接風が當らぬようにベツドの前にスクリーンを置きました。そから先生が檢痰をしたいとお思いになると思つて痰カツプを持つてゆきした。それから氷水より水道の水そのままの方がよいと思つて水差に水道の水を入れて置きました。それは氷水は刺戟して咳がでやすいので，水道の水程患者さんが召上らないだろうと思つたからです。

私は又床頭臺に水分の攝取量，排泄量の表をのせ直ぐにつけられるよう用意いたしました。

吉田さんをベツトにお寢かせした時私は，呼吸困難を樂にしてあげるために，ベツトを可成高くしてあげました。又，あの日は大變暑かつたし患者さんも暑かつたので，毛布は足元に疊み，スプレツドとシーツだけお掛けしました。呼吸を妨げるような事は，成可く避けたかつたので氣

を付けて掛物が胸の上に強く引張られて掛つていないかどうかを見ました。

ベッドの背部が高く上つていると，兩方の手が兩側にぶら下つているのに氣がつきましたので，枕を二つ持つて來て腕の下に支えのため入れてあげました處大變お樂になつたようでした。吉田さんは腕が息を苦しくしていたという事に氣が付かなかつたと仰つていらつしやいました。私は患者さんにどんな事があつてもベッドから決して下りてはいけないと話し，呼鈴の使い方を說明し，看護婦は忙しいから何か欲しいと思つたら直ぐ呼鈴を押すように，看護婦は，時には，直ぐ行かれない時がありますから，最後の瞬間まで辛抱しないようにと敎えました。

口の狀態が餘り良くなかつたので，食鹽水，ワセリン，油，綿棒をのせた口腔淸除法のためのトレイを作つて床頭臺の上におきました。

監督＝それでは谷本さん，貴方は，吉田さんの世話を引受けた時，看護の計畫は何ういうようにして作りましたか。

谷本＝吉田さんが私の患者になるということは，前の晩から判つていましたので，其の夜看護法の本で肺炎患者の看護の目的を見ました，そして次の三つのことを見付けました。

1 患者の體力を消耗させないこと。

2 症狀をやわらげること。

3 感染と戰う事。

それで私の主な仕事は，第一患者の體力を消耗させない事にあるという事が判りました。又或る症狀は看護によつて樂にすることができ感染に對しては患者の抵抗力と先生の下され命令の二つに依つて戰うことができます。私はこの三つのことを頭において計畫を立てました。

患者さんの體力の消耗を防ぐためには私は，自分のする看護はできるだけ一度にするという計畫を立てました。患者は大變衰弱していて自然に

排便する事ができませんでした。それで患者に骨を折らせないように先生は隔日に少量の低い浣腸の命令をおだしになりました。浣腸をする日には，私は朝先ず第一に浣腸をしてあげて體を拭いてあげる前に少し休めるようにしてあげました。それからお便器をとつてあげる時は，患者を横に寢かせ，綺麗にしてあげ，そのままの姿勢で横にしておきます。お便器をきれいにしましたら直ぐ淸潔にとりかかりますので先ず背中から始めます。こういう風にすると，何度も體位をかえる事は疲れさせる原因ですが，それをしなくともよいわけです。私は又患者がそうしている間に下の敷布を取り換えてしまいます。そうすると淸潔をしている間中敷布を汚さないように注意しなければならないのですが，患者の體力を消耗させないためには，それだけのことはし甲斐があります。殘りの淸潔は普通に致しますが，足は洗面器に入れて洗わず淸拭している間，患者は坐らせておきます。

患者に朝食を食べさせ，其のあとでもう一度，口をきれいにします。この時，筋肉内注射と咳のお藥を差上げ，インターンの先生に靜注をして戴くようお願いいたしました。それから氣持よく樂にしてあげると患者は殆どお晝迄眠ることができます。ドアーの入口には誰も患者の邪魔をしないように，札をだしました。

監督＝吉田さんについて何か特別の問題はありませんでしたか。

谷本＝はい，ありました。特に水分を攝らせるのに苦勞いたしました。そして終に，水分を攝らないのはお便器のかけはずしに非常に疲れるからだということがわかりました。それでお便器の代りに排尿の時膿盆を使う事を敎えて上げました。その後は水物を大變よく召上るようになりました。

もう一つの問題は腹部膨滿でした。そのために，痛みが來るばかりでなく，呼吸も餘計困難になるので先生に報告しました。先生は腹部溫罨法，

肛門にゴム管挿入，「ピトレシン」の注射をすることの命令をおだしになりました。私は又，お食餌を用意なさるお家の方に「かぶ」だの「豆」のようにガスを作る食物は用いないように申しました。その他には別に困つたことはありませんでした。

監督＝他にもつと何かしてあげられるということについて，ご質問なりご意見なりはありませんか。

渡邊＝肺炎の患者は寢返りさせて上げなければならないと思いますが，谷本さんは寢返りさせないようにしていらつしやるようですが。

監督＝谷本さん，その點は如何ですか。

谷本＝患者を寢返りさせなかつたといつたのではありません。一方に寢返りさせ，また他側へ返しそれからお便器をかけて，それをまたとるということを短い時間の間にするのは，患者をすつかり疲れさすことです。私は，患者が目を覺ましている時は，少くとも二時間毎に，一側へ返し，そから背臥位にしました。患者さんは，左側を下にすると，痛みが輕減されるので，そうするのが好きでした。然し私は短時間ずつ患者の右側を下にしておくこともできます。

監督＝來週は，吉田さんに就て注意しなければならない危險症狀と，起り得る合併症，そしてそれに就てどうしたらよいかということについて話し合いましょう。又この病氣の豫防という點に就ても少し話しましょう。明日，その討論のための特別の割當を貼りだします。

これでみなさんは生徒が自分でそれぞれの論題を準備するということがおわかりになつたと思います。皆さんは必要とお考えになるだけ手傳つて上げるのもよろしいのです。けれど皆さんは生徒に割當てたことに關し，自分も準備しなければなりません。それは若し生徒がよくできない場合に，

それを質問の形で，そのグループの人達にその論題を完成する事ができるように，カンファランスは必ずしも看護に限られなくともよいのです。醫師にも看護に影響するところの大體の醫學方面の事を話して助けていただく事ができます。醫師に手傳つていただく場合には醫師にカンファランスはたんなる講義ではなく，生徒との討議であるということを認識するように導かねばなりません。この半時間と續いて，醫師との討議で得た智識によつて，特別の患者についての看護法を半時間カンファランスをすることができます。

臨床講義も又，相互關係に重要な意義を持ちます。それは前もつて計畫せずとも行うことができます。問題がおこつたその時に病棟にいるところの看護婦を集め，症狀又は看護法を臨床で靜かにデモンストレーションすることができます。

患者の安樂又は安寧を妨げてまで，この講義を行うことは決してないように注意しなければなりません。若し大勢の人が廻りにいることが，心臓病患者の健康にとつて有害な場合，その患者が受けている處置が，例え生徒に是非見せたいものであつても，その床頭で臨床講義を決して行つてはなりません。

臨床講義の例を擧げてみましよう。背部の特別手當についてのクラスを丁度すませたところだと假定しましよう。その翌日，病室の生徒を見廻つている時に，今にも皮膚が崩壊しようとしている症狀をみんなもつているところの患者を見つけたとします。それは蒼く，冷く，感覺がありません。一年生の生徒を病室に集めます。そして，その部位を見せ，處置のデモンストレーションをして，これから先，皮膚が崩壊しないように豫防するよう，その患者に手當をするように計畫をたてさせます。

婦長も特殊の患者又は症狀について臨床講義を行う責任があることを知るように導かねばなりません。みなさんがウォードカンファランスや臨床

講義を全部行う責任をもつことはできません。けれど皆さんが婦長にカンファランスをどのように開くか教え，デモンストレーションして見せねばなりません。生徒もこれ等のカンファランスを好むようになり，又患者にとつても大きな助けとなります。何故ならこの特殊の患者についての特殊の問題の見識をすべての看護婦に與えることができ，又看護婦がこれ等の問題を解決するのに，どのような働きができるか教えることができます。

このよい例が私達が，ウォード•カンファランスを開いた，日本のある病院にありました。婦長が心臓病で長く入院しているところの患者についてのカンファランスをすることにきめました。其の患者は心臓の發作が度々ありました。生徒が報告を準備する時に氣がついたことは，患者がベッドにねたまま一日中天井をみているということでした。それと同時に，發作は何か患者をいらだたせることがある時におこることを知りました。起きようとする氣持，又何かしようという興味は全然ありません。醫師達は生理的には患者の心臓は，床についていなくともよい狀態にあると感じていました。

患者の狀態や處置の討議の後に，生徒達は何とかその患者に何か興味をもたせ，同時にベッドからおきるようにできるだけ勵まさねばならないと決心致しました。みんなが起きるようにすすめると，起き度くないというので，そのまま寢かせておくようになつてしまつているようでした。個人歴を受け持つた生徒が患者が編物の趣味があることを報告しました。そこで私達はみんなで，彼女ができるような編物につい考えました。この話について詳しく全部皆さんにお話しすることはできませんが，みんながこの患者に何か興味をもたせ，そしておきるように努力を集中した時に，その患者はすつかりよくなつて一カ月中に退院してしまいました。これはウォードカンファランスがよくなされて，又引續いて追求される時にどのようなことが成し遂げられるかの單に一つの例にすぎません。みなさんがウォード•カ

ンファランスにすぐとりかかれるものでないということはわかりますが，病室に於ける教育計畫にとりかかつたなら，このことは忘れてはなりません。これ等のカンファランスは餘分に道具も何も使わずに開くことができます。ただ計畫するだけのことです。ですから忘れないようにしなければなりません。病室に於て生徒の教育又相互關係を助けるところのいろいろの管理法が澤山ありますが，これは病室管理のクラスの時に致しましよう。

それでは，次の質問に對する答にうつりましよう。自分の教授の成功如何をいかにして知ることができるでしようか？　それには二つの方法があります。

1　病室において生徒が患者の看護をなす動作を觀察することと　2 試驗であります。

1 に關する限り，この方法は看護課目の成功度をはかる一番よいものでしよう。もしあなたが，患者によい看護を與える目標を示し，そして生徒達もその目標を自分のものとするように，導いたなら，生徒達が實際患者に與えるところの看護があなたが生徒を教育した成功如何を量るところの眞實のものであります。これ等の行動を教育制度が要求するところの%の成績ではかることは大變難しいことであります。そこで私達に他の方法があります。それが試驗であります。

皆さんが生徒の立場にあつた時，試驗というものは，自分が習つたことを驗すものであるというように考えました。そして屢々考えることは教師があなたを失敗させるのを何か特別に樂しみにしているのではないかということです。

けれど教室の反對側に立つた時，一教師になつた時には，試驗はあなたが何を教えることができたかはかるところのものとなります。そこではじめて，生徒に落第點をつけること程嫌なことはないということを知りま

す。それは落膽させられることで，自分自身の仕事に失敗したという感じを抱かせます。

教師として，あなたは試驗の眞の價値とそれが單に生徒を苦しめるものでないことを知ります。あなたがもし試驗を貴重なものにしたいと望むなら，實行しなければならないことがいくつかあります。ここでその一部についてお話しましよう。

1　もし其の課目が10時間から12時間以上になる場合には一つ以上試驗をするようにすること。試驗が一つしかされない時には，生徒がふだん勉强せずに，最後の試驗を待つて勉强する傾向があります。生徒が各學課の復習をすることがその學課にとつて重要な事であります。

生徒はこの毎日の復習をすることは，少し刺戟されない限り，なかなかでき難いものです。生徒に授業毎に，短い問題が一つ出されることを承知させておくことは，役立つものであることを知りました。それを，一語でも又は一節で答えられる，一點か二點つけられるところの一つの質問でもよいのです。これをすることによつて，その課目の最後に集中してなされる勉强と同じに毎日の學習を重要なものにすることができます。

課目の成績を，次に示すように記錄してゆくことができます。

	緒論	肺炎③	肺炎①	心臓病患者④	胃病患者②	等⑤	〃	〃②	〃⑩		③	②	⑤	(13)		最終50		合計100%	
田中花子		1	0	2	1	4		2	6		2	2	4	10		40		74%	
小林光子		2	1	4	2	4		2	8		3	2	4	(13)		46		91%	

又この方法は全成績がある一日だけの生徒の行動によつてきまつてしまわないという點でも公平な成績のつけ方であります。最終試驗の日に，彼は氣分が惡かつたり，又は感情的に落ちついていないかもしれません。け

れど，課目全體を通じての成績がその最終の惡い成績の點を平均させます。又同時に生徒によつては，毎日の學習を一生懸命せず最終試驗までずつと惡い點をとり，最後に最終試驗の爲に，詰め込み勉强を夢中にして，丁度山があたつた爲，よい成績をとつたとします。けれど，毎日の成績が惡い爲に，最終試驗は標準まで引き下げられ，實際に其の學期を通じての生徒の成績を示します。

ですからできる限り，試驗は一つ以上は施行するように致しましよう。

又試驗は，どの位敎師が自分の考えを先方に傳える事ができているか大體知る事ができるという目的をも持ちます。試驗の後でよく氣がつく事は，自分の言つた事を大部分の生徒が思い違いしていることです。この思い違いをそれ以上學課が進まない前に訂正する事ができます。

試驗の結果今度は成績をつけるというもう一つの重要なことがおこります。これは直ちにされなければなりません。前に述べた樣に，もうあなたがどの位よく敎授ができたか知るため，また生徒もどれだけ，學ぶことができたか知らせる爲に試驗をガイドとして使いたいなら，すぐになおさねばなりません。できるだけ，次の授業までには，返す樣にし，遲くともその次の授業には返さねばなりません。私は試驗を何週間もまたは其の學期中机の上に積み上げておく敎師をみたことがあります。若しあなたにこのような事がおこることをさせたなら，試驗の目的を多く無にしてしまつたことになります。

私達はまたできるなら生徒が試驗に對して異つた態度を持たせるようにしなければなりません。生徒は試驗は自分の學習を助けるものであるというように見なければなりません。このような氣持を生徒にもたせる一つの方法としては，その試驗，または間違いについての討議をする事です。これは最終試驗の時にも同じです。最終試驗の後には必ずもう一時間クラスを設けねばなりません。この方法によつてのみ生徒が試驗より本當に利益を

得る事ができます。

試験もクラスと同じように，生徒が學んだことを相互に關係を結ぶように使はわなければなりません。教師は互いに相談し合い，何を教えているか，又何を教えたか，お互いのクラスを一つに結びつけるようにしなければなりません。生徒は各クラスで學んだことは，そのクラスのみに使う智識として頭の一隅に入れてしまいがちです。生徒は解剖の時に習つた“胃”が食餌療法の時の胃と同じものであることを認識しません。みなさんは教師として，クラスに相互關係を結ばせるよう努力しなければなりません。

其の例としては，外科看護法を教え，手術後にはどのようにして，患者を樂にして上げるかに就ての討議になつたなら，看護實習の時に患者に寢返りをさせる方法として，どういうことを習つたか，質問するようにしなければなりません。（皆さんはすでに看護實習の教師と話し合つたわけですから，生徒が何を習つたか知つていらつしやいます）內科看護法で，膽囊疾患の話になつたなら，榮養士が食餌についてどういうことを習つたか，醫師が內科疾患のクラスで何を教えたか又解剖生理のクラスで何を教えたか質問なさい。このような事柄を知つておくことは，相互關係を結ばせるのでなく，同時に生徒が他のクラスで習つた事で同じことがでてきた場合には，全然新しいものとして教えないですみますから，時間も經濟的に使うことにもなります。

生徒も試驗の時には，教師は他のクラスで教えられたことでも，その試驗に生徒が覺えていられると思われることは何でも自由な氣持で質問することができるのだという事を理解して居なければなりません。

この相互關係について話している中に試驗という本題からちよつと離れたいと思います。私が今ここで言いたいことは，內科，外科，小兒科，産科のように醫師の講義がなされる看護法のクラスを受け持つところの教師は必ず醫師の講義に出席しなければならないという事です。この事を實行

することのみによつて，丁度醫師が一つの疾患について講義をしている同じ頃に，看護法のクラスでも，その疾患の看護法について話すことができます。又醫師の講義の時に生徒には解りにくかつたと思われることは，看護法の時間に繰返して說明することによつて，大きな助けとなることも出來ます。これ等の問題は，明瞭にされることができます。（附隨的に，醫師の講義に出席することは，又自己を保護することにもなります。何故なら，生徒は必ず醫師の講義に關しての質問をしますから，敎師は自分のクラスがある前に自分でわからなかつた點を醫師に聞いたり，本で調べておく機會がもてることになります）。

それでは試驗にもどりましよう。私達は試驗は自分が敎えたことを驗すものとなるようにしなければなりません。もしあなたがいろいろの事實について敎えたのでしたら，その事實についてお驗しなさい。生徒に推理することを敎えているのでしたら推理について驗すようにしなければなりません。クラスが小人數の場合には，實際のデモンストレーションの試驗を一部する事ができます。けれど實際のデモンストレーションに成績をつけることは大變難しいことです。

私が難しいというのはどういう意味であるかわかつていただく爲に，この方法はどのようにしてできるかお話し致します。ではあなたが看護實習のクラスを終えたと假定致しましよう。そして最終試驗の一部は實地試驗にすると決めたと致します。生徒にさせる手順は次に述べる課程だときめます，——浣腸，導尿，胃管榮養法，皮下注射，脊椎穿刺の介補。それぞれの課程を紙に書き，たたんで箱に入れます。きめられた時間に課程をする爲に生徒が來たなら箱の中から紙を一つひきます。それに書かれたものが，その生徒の試驗課程となるわけです。どんな課程が試驗に出されるか，前に知らせてはなりません。その學期中に敎えられた課程に對し，生徒は全部責任をもつてできなければならないことは承知されていなければ

なりません。そこで教師は試驗をする前に，生徒に成績をつけるところの課程について成績様式が準備されていなければなりません。教師は生徒が課程を準備し，後仕末をするところがよく見えるところ，但しできるだけ目立たない場所に立つか坐るかします。課程が行われる間は，口をだしてはなりません。間違いはそのままにさせて，それを自分できり抜けてゆくようにさせます。

浣腸の課程の場合の様式として次のページに參考までに一つ書きました。様式は課程が行われる順序に組まれます。ごらんになればわかりますが，それぞれの事項につく點數はみな同じではありません。最高點で重きをおかれている點は，患者に對する生徒の態度が關係しているところの課程の部分におかれています。（註；12, 13, 14, 22, 25）殘りの高い點數患者の安全に關係する事項におかれています。（註；8, 9, 23）これ等はのことがクラスで最も重要であると强調されてきたものです。他の試驗課程にもそれぞれ參考のような様式がつくれます。各デモンストレーションには少くとも半時間は與えなければなりません。ですから午後だけでしたら，五つか六つ以上は濟まされないでしよう。一つの課程が箱からひかれたなら，一日の午後に同じ課程が二度繰返えされない爲，箱にその紙をもどしてはなりません。

浣腸の試驗

	合格點	生徒成績點			
		A	B	C	D
1 トレイ	2				
2 浣腸罐，ゴム管，クレンメ	2				
3 石鹼液	2				
4 膿　盤	2				
5 潤滑液	2				
6 ゴムシーツ	2				
7 器具を有效に敏速に集めた。	3				
8 液を正しく準備した。	6				
9 適當な溫度にした。	5				
10 トイレが整頓されていた。	1				
11 病室に持つてゆく前にゴム管の空氣をぬいた。	1				
12 患者を丁寧に取扱つた。	10				
13 患者に浣腸の課程を說明した。	10				
14 患者をできるだけ少く露出した。	10				
15 患者を正しい位置においた。	1				
16 ベッドを保護した。	1				
17 ゴム管に潤滑液をぬつた。	2				
18 ゴム管を適度の深さに挿入した。	2				
19 浣腸罐をゆつくり與えられるだけの低さにおいた	4				
20 罐が空にならない前にゴム管をクレンメでとめた	3				
21 管をとりはずす時にベッドを濡らさなかつた。	1				
22 患者を落し紙とベルを手の とどくところに殘していつた。	10				
23 器具をきれいにして整頓しておいた。	5				
24 手を洗つた。	3				
25 患者がどうしているか，樣子を見に歸つた。	10				
	100 %				

日本では大抵随筆試験が使われてきたということは知つています。皆さんの多くは，御存知でしょうが，随筆試験にはいくつもの缺點があります。

1　成績をつけるのに長時間かかること，クラスの人數が五十人から百人で，十の随筆的問題を出すとしたならば，考えただけでもどんなに長くかかることか想像がつくでしよう。

2　随筆試驗に成績をつけるにあたつて，考慮されてはならないことが，成績の中に入つてしまうことです。例えば，

（イ）もしその生徒が字が下手で，あなたが讀みにくかつた場合，そのいらだつた氣持を悪い點をつけることによつて，示す傾向があります。實際には，他の生徒よりは，よく自分の考えを書き表していたのかもしれません。けれどあなたが字を讀みにくかつたばかりに悪い點がつけられてしまいます。（もし，字を綺麗に書くということが，その課目の中に含まれて敎えられたのでしたら，勿論その點を考慮してかまいません。しかし大抵の課目では字を書くことは敎えません）

（ロ）ある生徒が自分の考えを上手に表現する才能を持つている場合，敎師はその生徒が書き表し方が上手な爲に他の生徒よりはもつと智識があると思わせられることがあります。

（ハ）或る人は生れつききちんとしている性質をもち，敎師は試驗用紙の整然としていることに印象づけられてしまいます。私は物事を綺麗にし，よく組立てることは看護婦にとつてどんな時にも必要だと思いますから，このことは成績に含んでもよいでしよう。その場合このことが成績の中に考慮されるということは，生徒にあらかじめ承知させておかねばなりません。

（ニ）成績をつけている時，よい答案がその前にあつたか悪いのがあつたかによつてその随筆の答案の成績のつけ方が違つてきます。もしすば

らしくよくできた答案をしらべたすぐ後で，普通のをしらべた時には，今すませたばかりのよくできたものにくらべ，悪くみえてしまいます。これは二番目の答案に對し，不公平なことです。

（ホ）教師が坐つて成績をつける時に，疲れているか否かによつて，又違つてきます。疲れている時には，精神を集中することが難しい爲に，細密に成績をつけられなくなる傾向があります。大量の答案を調べる時には次に述べることがおこります。始めは注意深く，一つずつ嚴密に批判的によみます。疲れてくるにつれて，あまり丁寧には讀まず結局は批判的でなくなつてきます。ですから澤山の隨筆試驗をしらべる時には，一度に全部しないで，何度にもわけてなさい。隨筆試驗のよい點としては，例えば倫理，看護の課目によつて，心理學等で題材を組織したり，又考えを言い表わしたりする生徒の能力を驗す時に使えます。調べる時には必ず，それぞれの答には，どういう點を含んで欲しいかはつきりとしたリストをつくる事です。そして問題を調べてゆくにしたがつて，そのリストをたしかめていくようにします。このような理由もありますから，リストに述べられた一つの點が頭に殘つている中に同じ一つの問題を全部しらべてしまうのが一番よいのです。詳しく言えば，全部の試驗の第一問題を先ずしらべ，次に第二問題を全部というようにしらべてゆきます。

これによつてもおわかりになると思いますが，隨筆試驗に成績をつける時，生徒の答の智識のみではなく，他にも成績に影響を及ぼすものが多くあります。そこで，もつと早く，そして正確に成績をつけることのできる種類の問題をつくる爲に，客觀的な型の試驗が案出されました。

みなさんが研究なさることができるように，いろいろの種類の客觀的試

驗を用意致しました。看護課目に一番新しく使われている種類は，一人の患者を中心に質問がみな出されるものです。內科疾患の試驗の時には，最も多くみられるところの疾患に苦しむ患者を選ぶでしよう。これは實在の患者でなくとも，その場合をつくり出せばよいのです。けれど，生徒が藥理學，看護實習，內科疾患，內科看護法，食餌療法，公衆衛生等のクラスで習つたことを試驗の中にもつてくることができます。生徒が事實に對してもつ智識のみならず，推理の能力をもためすことができます。質問が新しい場合を創りだします。生徒は問題をみることは助けられますが，あとは自分でそれを解決し，試驗の成績は，どの位よい判斷がされたか驗された結果となります。

内科看護法試験

姓　名＿＿＿＿＿＿＿＿

19 歳の若い婦人が大葉性肺炎の診斷のもとに寢臺車で入院して來た。病歴は次の通りである。2 日前まで患者は非常に元氣であつた。2 日前彼女は急に激しい惡感におそわれた。それに續いて體溫は39.2 度に上昇し，左側胸痛及び咳嗽が續いた。次の日患者は濃い，粘調性の血線をまじえた痰を出した。彼女の主治醫は家に誰も彼女に適當な看護をする人がいないため，入院する事をすすめた。

入院時に看護婦は次の他覺症狀を觀察せねばならぬ。

a　チアノーゼをおこした唇

b　呼吸困難及び速呼吸

c　吸氣時の痛み

d　顏面紅潮

e　口內がにがい味を呈する

f　呼氣時のうなり聲

g　弱い，遲い脈

肺炎の原因は；ー

a　細菌性

b　非細菌性

……の場合がある

肺炎の誘因は；ー

a　手術後の嘔吐物の吸引

b　昏睡又は鎮靜劑のとり過ぎ

c　度々充分に患者に寢返りさせる事を怠つた時

d　夏，冷い飲物を頂いた時

e　感冒の正しい手當をしなかつた時

……の場合がある

この患者を入院させた後できるだけ早く檢痰をとる事は看護婦の大切な仕事である，痰の檢査物をとるため彼女のとつた手段は次の通りである。

a　患者を側臥位にして腕を頭の上にあげさせる

b　咳の藥を與える

c　痛みを少くするため胸部に繃帶をする

d　體位性排膿を行う（頭を下げて體をさかさにして排膿する）

この患者に對する命令の中には硫酸コデイン$\frac{1}{2}$グレイン（0.032グラム）を疼痛のため4時間毎に與える事，疼痛ひどくコデインでは痛みのとまらぬ時は硫酸モルヒネを$\frac{1}{6}$グレイン（0.01グラム）を與える事，チアノーゼのためには必要時酸素をあたえる等が含まれる。

コデイン及びモルヒネは；―

a　中樞神經を抑制する

b　咳嗽をとめる

c　心臟を刺戟する

d　腹部膨滿をやわらげる

e　習慣性となる

酸素吸入（療法）は價値がある。何故ならば……

a　肺胞に感染を受けた液がたまるため，働く事のできる肺の組織は少くなる。

b　深い呼吸をする必要性を少くするからしたがつて痛みを少くする

或朝看護婦は患者に清拭をしてあげながら，患者が著名な腹部膨滿のある事にきがついた。

a　彼女は醫師に報告すべきである

b　それは患者の呼吸困難を促進させるかもしれない事を知つていなければならぬ。

c　彼女は患者に何も心配する事はないという事，それについて何も處置しなくて良い事を話す。

d　患者を助けおこして，御不淨に連れて行かねばならぬ

e　溫濕布と直腸管とによつてやわらげられる事もある。

f　モルネの投藥によつてそれは促進させられる。

次の危險症狀を看護婦は注意して觀察せねばならぬ。

a　脈搏，呼吸數低下のともなつた急激な體溫下降。

b　患者が經過よくだんだんよくなつてから，體溫が再び上昇し胸痛が再發する。

c　體溫の急激な下降に伴つて脈搏，呼吸數が上昇した場合

d　泡を立てるようなやかましい呼吸及び血液のまざつた泡が咽喉にあること。

ごらんになつてもわかりますように教師にとつてこの種類の試験を書く事はとても難しいものです。けれどしらべるのはとても簡單であり，生徒の考えを患者を中心に維持してゆかれます。みなさんもこのような試驗をいくつか書いてごらんになるとよいでしよう。それから事實に對する智識をためす爲に，正誤問題をお使いなさい。各正誤問題は考えを刺戟するようなものでなければなりません。完成問題（穴うめ問題）はある言葉又は事實を思いおこす生徒の能力をためします。又それは問題を解決するにも使われます。例えば次のような問題がだせます。

“2％の硼酸液を 1000cc 使つて膀胱洗滌を與えるように言われたなら，——グラムの硼酸結晶を使います。”

この問題では生徒は實際に答を考えなければなりません。

完成問題は空白の個所をみな試驗用紙の片側に並べると調べ易くできます。

そうすばれ，その“答”の紙を平行に並べて，より早く間違いをみつける事ができます。

1　結核の原因は（1）　　　　　　（1）＿＿＿＿＿＿＿

2　ジフテリアの全般症狀はジフテリア菌に
よつてつくり出された（2）によつておこる。（2）＿＿＿＿＿＿＿

3　細菌が體內に侵入するところの入り口は　（3）＿＿＿＿＿＿＿
（3）と呼ばれ，體をはなれるところは（4）と　（4）＿＿＿＿＿＿＿
呼ばれる。

撰擇問題は，最初に私が話したところの問題の形です。生徒が情勢にあてはまるところの陳述を選ぶのであります。けれど次に述べるような短い情勢に使う事もできます。例を擧げれば……

患者が內出血で苦しんでいる場合は——

1　脈搏がおそい。

2　脈搏が速い。

3　脈搏が强い。

4　皮膚が紅潮している。

5　皮膚が濕つている。

6　體溫が上　している。

7　脈搏が弱い。

すでに正誤問題についての例は擧げられました。ここで注意しておきたい事は，誤の陳述より必ず正の陳述の方を多く出す事です。生徒に誤つた陳述をあまり多く考えさせるのはよくありません。

ここで試驗をする時の目的について復習致しましよう。

1　教師が自分で教えているつもりでいる事を果して生徒が學んでいるか知る機會が與えられます。若し貴方が教えていられる事を生徒が理解していないという事がわかつたなら，その教える方法を變える事ができます。

2　どの生徒が重要な點をつかむ事又覺える事ができないか教師にしらせる役目をします。これ等の生徒には特別の援助と指導を與える事ができます。

3　生徒が新しい情勢に自分の學んだ事を適應させてゆく能力を調べる。

4　自分の學んだ事をしらべるよい機會を生徒に與えます。

5　自分の級友に比較して，どの位自分が學ぶ事ができたかみる機會を生徒に與えます。ある生徒にとつてはこれはよい刺戟になります。

6　生徒の大半にどういう事がはつきりとわかつていなかつたか教師は知る事ができ，それを繰返して說明する事ができます。

7　どの學校制度もが要求するところの成績點を得る爲。

8　毎日の勉强に追いついてゆくように，生徒を刺戟します。最終試驗の爲の生徒がする集中された勉强は，記憶の助けとなるところの勉强では

ありません。それは毎日される勉強の事です。――そしてそれが最後の集中した勉強によつて補足されます。――それが大切です。

これ等の目的を頭において,前に話したところの事實,そして試験をなす時に,又つくる時に覺えていなければならない事を摘要してみましよう。

1 10時間以上の各看護課目には一つ以上の試験をする事。

2 その課目の目的をかえりみて,自分が敎えようとした事を試験に出すようにしましよう。もし事實,技術,推理を敎えていたのでしたら,試験は其の事についてためすようにします。事實に對する智識をためす問題をつくります。生徒の推理する能力をためす問題をつくります。そしてできるなら,生徒の技術もためします。

3 採點をできるだけ客觀的にするような採點法を案出する事。例えば,次に述べるような事について書くような隨筆問題を出す事があります。

"次のような場合は看護婦はこれを如何に處理すべきかを述べよ;――アベ•タダカは三歳の男兒で,ズルファ劑をとらなければなりません。彼はそれをのむ事を拒み,大聲をたてて,はき出してしまいます。"

ここでみなさんは生徒に書いてもらいたい幾つかの點を決めて,それを生徒に知らせなければなりません。そこであなたは三つの解決法を書いて欲しいとします。そしたなら,どの解決法がよくどれがわるいか判斷させる爲,質問につづいて次の事項を加えます。"三つの解決法を書き,どれが一番望ましくどれが望ましくないか示せ"と書きます。

4 試験の間違いにより,生徒も敎師も共に得るところがあるように試験はすぐにしらべる事。

5 生徒が自分の間違いをみて,討議の時間が設けられるようにする爲,試験は生徒に返す事。

6 何を試験でためされるか,生徒にはつきりとさせる事。それは字の書き方,綺麗さ,文章の構成に成績をつけるか否か――出される問題の種

類は，隨筆式か又は客觀的な方法か試驗の範圍はその課目の始めから全部か又は前の試驗からあとの範圍か等をはつきりさせます。

7　隨筆問題をしらべる時は必ず，各質問の答に含まれているべき點のリストをつくつておく事。そして採點しながら度々これらの點をしらべます。一つの問題を一度にみな成績をつける事も忘れてはなりません。それは全部の答案の第一問題を先ずしらべる事。次に又もどつて第二問題をしらべてゆくようにします。最後に申し上げる事は疲れている時は，無理をして試驗をしらべない事です。

8　問題の出し方がわかつた時，それを認める事を恥しいと思つてはなりません。そしてその問題は試驗より除去しその點は數えない事。

9　できるだけ，看護の質問を患者に關連させる事。

10　できるだけ，質問は思考的なものにし，推量するようなものはさける事。

11　ゆつくりと考える人の爲に充分に時間を與える事，但し，試驗は定まつた時間には必ずやめること。不決斷をすすめてはなりません。

それでは私達の最後の質問は，教師又教育主任の任務は何か？　というものです。これからその任務について述べます。……

教育主任の職務

1　學校の目的，方針を定義する。

2　學校及び職員間に協力的な有效な關係を維持させる。

3　學校の教育の任に當る職員の撰擇及び任命を司り，各人の責任を明確にする。

4　方針決定及び問題解決のため定期的に職員會議を開き，司會する。

5　新職員の紹介及び昇進の資格をそなえるため職員の研究心を刺戟す

る。

6　入學の標準を定め，入學資格ある志願者の募集を行う。學校の名聲を高める。

7　學科課程を定め，各課程の目的順序を定める。

敎育時間割の計畫，醫師及び看護婦講師と講義の約束をなし，講義と實習とに相互關係をもたせるようにする。

8　學科課程に定められた計畫に沿つて病院の各病室及び其の他の實習場に於ける實習經驗の豫定をたてる。

9　敎育計畫を實驗するに必要な適當な敎室，實驗室，圖書室及び其の他の施設の準備をとゝのえる事。

10　外部の施設と必要なる校外實習の取りきめをする事。

11　生徒各人の學科成績及び實習經驗，個人的性質，特質及び實習の結果等をはつきり示す效果的な記錄の方法を維持する。

12　生徒の敎育的，職業的及び個人的問題解決を助けるため相談にあずかる。

13　積極的な健康管理を行い（生徒の完全な健康手帳を保管する事も含まれる）生徒の病氣の手當を行う。

14　健康的な氣持のよい家を生徒のなめに維持し，文化的，社交的催しの機會を與える事。

15　生徒の學習に適した適當な寄宿生活の時間及び環境を作るようにする（できればこれは敎務主任の監督の下に生徒の自治會を通じて始めた方がよい）

16　絕えず目的の變更及び必要に應じて全敎育計畫を分析し，適應させる。

專任敎師の職務

1　敎育主任の要求に應じて學科課程の計畫を助け，自分の責任ある講義

に關係ある醫師の講義に出席し，必要な手だすけをする。

2 教育時間割の計畫の手つだい（臨床實習も含まれる）

3 自分の教える講義に必要なる物品，設備の計畫及び請求を行い，それらの物品を經濟的に用いる。

4 好ましい勉强の習慣をつけるよう，生徒を指導する。

5 臨床その他の分野に出來るだけ勉學の機會を探し，それを上手に利用する事。

6 教室，病室，其の他の實習場に於ける生徒の成績の記錄をつける。

7 教室の教育と臨床經驗及び實習と相互關係をつける事。

8 成績評價，教育及び看護實習の向上に他の職員と協力する。

9 學校の課外活動を助け，共にそれに加わる事。

10 自身及び職員全體を成長させ，成績をあげるような活動には積極的に參加すること。

11 健康教育及び社會の施設の利用法を含めての，看護法の向上をはかる考えを持つて，患者の看護上の要求の研究に助力する。